



広 報

みとよ

そーら! えんや えんや
よいやっさー!!

とよなか秋のまつり

三豊市公式ホームページ
<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

2011
NOVEMBER

第 71 号

11

ごみはすべて資源

三豊市の新しいごみ処理方式として「トンネルコンポスト方式」を提案

次期三豊市のごみ処理について、去る9月15日、市議会
ごみ処理問題調査特別委員会に提案を行いました。今後、
市議会において審議され、三豊市としての方向づけが行わ
れますので、議会提案を行った概要をお知らせします。



これまでの
取り組み経過

平成22年の答申

三豊市は、地球温暖化の要因であるCO₂を削減し、次世代を担う子どもたちに良好な地球環境を引き継ぐため「ごみはすべて資源である」という理念を掲げ、これまで次期ごみ処理に関する検討を行ってきました。

平成22年2月18日、5人の専門家によって組織する「三豊市ごみ処理技術検討委員会」から「三豊市にふさわしいごみ処理技術の選定について」の答申が行わ

れました。この答申の趣旨は「燃やせるごみ」のうち「生ごみ」を分別収集し、バイオガス化施設で燃料として回収し、脱離液は排水処理、発酵残さと汚泥は堆肥化、その他の可燃物は、民間委託により固形燃料化する

というものでした。

バイオマスタウン構想による取り組み

平成22年9月21日、市議会に対し「三豊市におけるごみ処理の基本的な考え方」を提案しました。これは、これまでの研究・検討と、それによって得られた貴重なデータに裏づけされた「ごみはすべて資源である」という考え方を原点に「ごみを処理する」という今までの視点ではなく「新しい産業と雇用機会の創出」という新しい視点を持ち「ごみを資源として循環させる」という理念と、最も合理的に処理するという現実的なコストの面から総合的に検

討し、市民の皆さんとの合意形成を図るというものでした。

事業展開の基本的な考え方は「家庭から出される燃えるごみはバイオマス（家畜排せつ物や生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源）である」と捉え「バイオマスタウン構想」により、これをエネルギーとして循環させる方式で資源化しようとするもので、臭気対策の徹底、処理水の適正処理、市財政の中期的見通しに影響を与えない処理コストを基本とするものです。

民間企業に対する公募

平成22年12月6日、これらの理念実現化の手法として「技術は民にある」ことを前提に、三豊市の理想を実現できる民間企業の技術や資金の可能性を探り、その取り組みを支援することにより、民間活力を最大限

に導入し、地域産業の育成・振興を図ることを目的に「三豊市一般廃棄物処理施設整備事業参加意識確認調査」を実施し、平成23年1月21日、市長に対し、次期ごみ処理施設の「方式」の案として、固形燃料化方式（RPFおよび堆肥の製造）が報告されました。

しかし、この方式は、現在、国内における実証事例が無いことから、報告には「実証実験等を注視し、深く検討していただきたい」という要望が付記されていたため、提案者により、これまで計10回の実証実験が行われ、三豊市では、これを社団法人地域環境資源センターと香川大学に委託して検証を行い、平成23年8月31日、その検証結果が報告されました。

専門機関による検証

平成22年9月21日、市議会に対し「三豊市におけるごみ処理の基本的な考え方」を提案しました。これは、これまでの研究・検討と、それによって得られた貴重なデータに裏づけされた「ごみはすべて資源である」という考え方を原点に「ごみを処理する」という今までの視点ではなく「新しい産業と雇用機会の創出」という新しい視点を持ち「ごみを資源として循環させる」という理念と、最も合理的に処理するという現実的なコストの面から総合的に検

実証実験の検証報告

社団法人地域環境資源センターの報告
(原文抜粋)

おおむね妥当

バイオトンネル方式（バイオフィルター脱臭装置を含む）は、家庭ごみと事業系一般廃棄物の固形燃料化、並びに産業廃棄物と事業系一般廃棄物（共に食品残さ）の堆肥化について、おおむね妥当な一次発酵装置であると認められる。

国立大学法人香川大学の報告
(原文抜粋)

革新的技術である

バイオトンネル方式を利用したごみ処理技術は、三豊市が、これまで目標としてきた「資源が循環する持続的な地域社会の構築」を実現するために非常に有効性の高いものであり、従来の焼却施設では困難な温室効果ガス排出抑制、処理費用低減化、ダイオキシン発生抑制等を実現できる環境に優しい革新的技術であると考えられる。

議会提案の概要

提案事項

9月15日、市議会ごみ処理問題調査特別委員会が開催され、これらの報告を踏まえ、横山市長が次期ごみ処理に関する提案を行いました。その内容は次のとおりです。

処理方式

トンネルコンポスト方式（固形燃料原料および肥料原料の製造）

運営方法

民設民営を基本とする。

提案理由

トンネルコンポスト方式は、トンネル型の密閉した発酵容器の中で、ごみを好気性で発酵・乾燥させることにより、固形燃料原料および肥料原料の製造を行う方式で、次の代表的な特徴を持っています。また、現

計画では、固形燃料、肥料とも原料を製造し、この原料を使用した製品化について

では、別の工場で行うことと

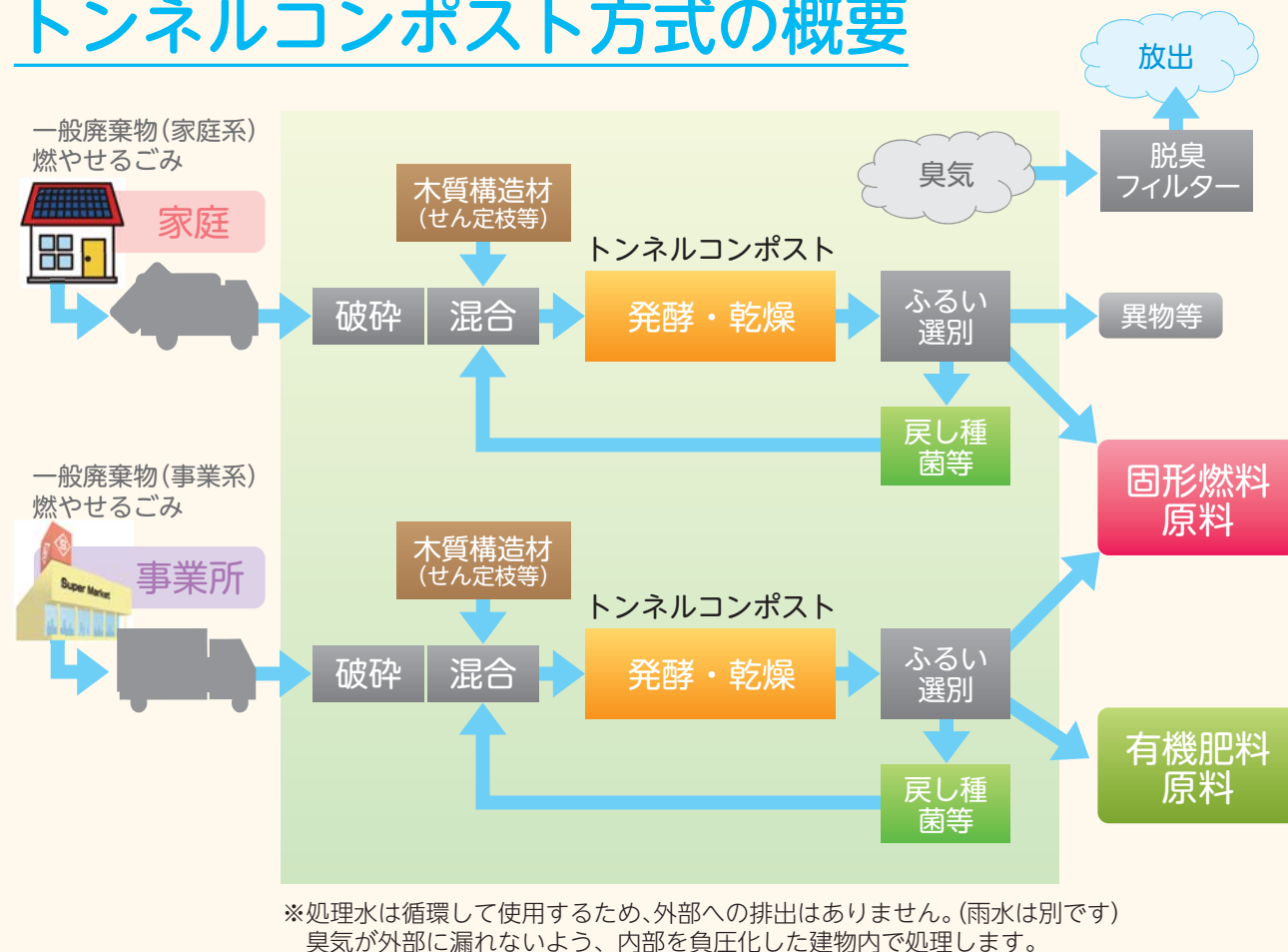
民設民営

行政事務事業の肥大化を解決する手段として「民にできることは民で」という考え方に基き導入を検討するもので、三豊市が施設を整備する際に発生する巨額の公費負担、つまり税金投入が不要となり、財政規律の適正化に大きく寄与します。また、民間企業にビジネスチャンスを与え、民間企業が保有している技術力、資金力を最大限に活用することにより、地域経済の発展と雇用の創出を図ろうとするものです。

今回は、市議会への提案を踏まえ、その内容を中心にお知らせしましたが、次回はトンネルコンポスト方式とはどんなものなのか、その施設概要などについて詳しくお知らせします。

▼問い合わせ
バイオマスタウン推進室
☎73・30208

トンネルコンポスト方式の概要



▲実験に使用した三豊市のごみ



▲粉砕機にかけます



▲トンネル（実験機）への投入



▲20日程度発酵させます



▲発酵が終わったものをふるい選別します



▲ふるい選別が終わった固形燃料原料



▲狩猟専門部のメンバー

河内鳥獣会
山本町河内地区は、数年前からイノシシによる農作物被害が発生し始め、近年は深刻な問題となっていました。当時、河内地区には狩猟者が少なく、被害が拡大していきました。平成23年3月、農家の人々を中心に農作物の被害対策を行うため「河内鳥獣会」が設立され、さまざまな活動を行っています。将来的には集落を守るため、集落防護柵の設置等も検討しています。

地域の取り組み事例

市内では、自分たちで有害鳥獣対策をしようという動きも出てきています。その中で「地域ぐるみで農作物を守ろう」と有害鳥獣対策に取り組んでいる河内鳥獣会と、アライグマ防除従事者の宮崎和代さんを紹介します。

自分たちの地域は自分たちで守る



河内鳥獣会
白川良三さん

現在、河内鳥獣会は非農家の人を含め247人の会員がいます。各自治会からの寄付金・負担金や市の補助事業を利用して、狩猟免許を取得し、箱おりも7基購入しました。今では、9人の狩猟免許所持者がいます。以前は、狩猟者に頼りきりになっていたのですが、自分たちの地域は自分たちで守ろう、ということで、ベテランの狩猟者にアドバイスをもらいながら、切磋琢磨しています。今のところ3頭のイノシシを捕獲することができました。

今年は、免許を取ったばかりで、捕獲区域が限られています。が、来以降は、河内地区での広域的な捕獲活動をしていく予定です。

有害鳥獣駆除対策事業

協議会を設立し農作物被害を防ぐ！

三豊市ではイノシシ・アライグマ・サルなどの有害鳥獣によるさまざまな被害が広がっています。被害情報・目撃情報ともに市内各地で報告されており、今後さらに被害の拡大が予想されます。そこで、平成23年7月に関係5団体で三豊市鳥獣被害対策協議会を設立し、関係者が相互に協力することにより、被害の拡大防止に取り組んでいます。



三豊市鳥獣被害対策協議会とは

- ・三豊市鳥獣被害対策協議会は、
- ・香川県農協三豊地区営農センター
- ・三豊農業共済組合
- ・香川県猟友会（高瀬、観音寺支部）
- ・香川県西讃農業改良普及センター
- ・三豊市農業振興課

の5団体で平成23年7月に設立されました。各団体が相互に協力して市内の有害鳥獣を適切に管理することで、地域農業の振興および三豊市の活性化に寄与することを目的としています。

主な活動内容は、

- ・野生鳥獣による被害の防止対策の実施に関すること
- ・各種補助事業等による取り組みとその推進に関すること
- ・鳥獣被害を減少させるために必要なこと
- ・その他対策協議会の目的を達成するために必要なこと

主な補助事業は

国の補助事業としては「鳥獣被害防止総合支援事業」を利用すること

で、箱おりの購入や動物用発信器の導入、集落防護柵の整備などに取り組むことができます。今年度の事業予定として、イノシシ駆除用の箱おりを購入する予定です。

市の補助事業は、次の3事業です。

いづれの事業も、事後（購入後）の申請については受け付けできませんので、補助金の交付を希望される人は、事前に農業振興課にご相談ください。

●被害対策用ネット等設置事業

水田・畑等の農作物を鳥獣から守るためにネット・金網・電気柵等を設置する際の経費に対して、2分の1を補助します。

※補助金限度額は10万円です。

受益戸数2戸以上の場合で一体的に整備する際、ネット・金網・電気柵等を設置する際の経費に対して、3分の2を補助します。

※補助金限度額は年間30万円です。

●駆除用具購入補助事業

市内狩猟免許取得者および防除従事者がくくり罠・箱おりを購入する際の経費に対して、3分の1を補助します。

※補助金限度額は、くくり罠の場合2万円、箱おりの場合5万円です。

アライグマ防除従事者

高瀬町二ノ宮地区の宮崎和代さんは、1年前からアライグマによる梨・スイカ・サツマイモ等の被害被害を受けていました。

そこで宮崎さんは、県の主催する防除従事者講習会を受講し、アライグマ防除従事者として捕獲を行っています。市で貸し出しを行っている箱おりを利用し、平成23年9月現在で11頭のアライグマを捕獲しました。



▲講習会で捕獲器を組み立てる受講者

有害鳥獣対策は、個々に取り組むとともに、地域での連携した取り組みが必要です。地域での取り組みに対し、補助事業を利用できる場合がありますので、詳しくは農業振興課にご相談ください。

▼問い合わせ 農業振興課 ☎73・3040

●狩猟免許取得補助事業

市内在住者が狩猟免許を新規に取得する際、受験手数料と初心者講習会受講料の2分の1を補助します。

※合格者のみ補助対象となります。

イノシシ被害対策

狩猟期間以外には、有害鳥獣捕獲許可申請に基づき、イノシシの駆除を猟友会に依頼しています。

また、農家自身が自営捕獲を行うため、狩猟期間に限り、条件付きで「囲いわな」の貸し出しを行っています。

アライグマ被害対策

アライグマ防除従事者講習会を年間2回開催しています。講習を受講後、市に申請・登録することで、アライグマの捕獲・運搬が可能になります。

現在で、226人の防除従事者が登録されており、今年度も冬に開催を予定しています。

サル被害対策

平成23年度にサル追い払い用の電動ガンを購入し、追い払い活動を支援します。

アライグマ防除従事者

宮崎和代さん

1年くらい前に、スイカに被害がはじめて、最初はカラスかなと思っていました。そこで、市農業振興課の職員に見てもらったと、アライグマの可能性が高いとのこと、防護ネットを張りました。しかし、あまり効果がなく、自分で捕獲しようと思ひ、防除従事者講習会を受講しました。講習は、半日だけでしたが、大変勉強になりました。今年は梨の被害が多く、約50キヤリくらい被害を受けています。アライグマを多く捕獲しましたが、まだ被害が出ている状況です。

1人でも多くの人が防除従事者講習会を受講し、連携してアライグマの防除に取り組めば、もっと早く被害が減るのではないかと思います。



三豊市制5周年記念 市政功労者を表彰

永年、郷土の発展に尽された皆さんの功労を称える市政功労表彰式が、10月2日マリノウェーブで開かれました。

今回受賞された皆さんは、市の表彰条例に基づき、合併前からそれぞれの分野で活躍され、合併後も市政の発展に貢献された方々です。式では横山市長から受賞者1人ひとりに表彰状と記念品が手渡されました。

これは三豊市制5周年を記念して行われた表彰式で、功労表彰者199人、善行表彰者5人、感謝状贈呈者1人でした。(敬称略・順不同)



功労表彰

●議会議員として地方自治の振興に尽力

香川 努 (高瀬町)
近藤 久志 (高瀬町)
大平 敏弘 (高瀬町)
鴨田 偕 (高瀬町)
大平 俊和 (高瀬町)
三木 秀樹 (三野町)
金丸 勉 (豊中町)
瀧本 文子 (豊中町)
肥吾 豊志 (詫間町)
川北 善伴 (詫間町)
小林 照武 (詫間町)
眞鍋 昌年 (仁尾町)
城中 利文 (仁尾町)

●固定資産評価審査委員会委員として地方自治の振興に尽力

喜田 輝雄 (仁尾町)

●行政相談委員として地方自治の振興に尽力

十鳥 茂義 (豊中町)

●漁業協同組合組合長として水産業の振興に尽力

三島 朝弘 (詫間町)
田島 貞彦 (詫間町)
浅野 博海 (詫間町)

●交通指導員として交通安全の向上に尽力

森 哲男 (高瀬町)
故横山 茂樹 (詫間町)
岡田 幸雄 (高瀬町)

●消防団員として防災活動に尽力

藤原 俊治 (高瀬町)
田中 保志 (詫間町)
横関 佐太郎 (高瀬町)
相馬 将司 (高瀬町)
内田 芳則 (詫間町)
鈴木 朝則 (財田町)
鴨田 直士 (仁尾町)
江川 肇 (詫間町)
陶山 和典 (詫間町)
高橋 勤 (高瀬町)
大楠 哲哉 (詫間町)
合田 忠二 (高瀬町)
石井 昭昌 (高瀬町)
高橋 義光 (高瀬町)
近藤 和雄 (高瀬町)
故黒川 久司 (山本町)
山岡 正弘 (財田町)
岩倉 秀憲 (山本町)
小畑 清二 (高瀬町)
平川 善久 (山本町)
大西 孝 (財田町)
関 憲三 (豊中町)

土井 英信 (仁尾町)
石井 光秀 (高瀬町)
畑村 友則 (詫間町)
藤原 啓二郎 (山本町)
岸井 芳夫 (高瀬町)
佐々木 正輝 (財田町)
大西 修 (豊中町)
近藤 敏晴 (山本町)
西谷 順一 (豊中町)
永崎 正宏 (財田町)
松野 正憲 (高瀬町)
宮本 正数 (財田町)
横山 肇 (詫間町)
安森 正彦 (詫間町)
佐藤 照夫 (豊中町)
内田 末雄 (豊中町)
岡田 龍宗 (仁尾町)
篠原 正晴 (豊中町)
加門 敬則 (財田町)
小山 雅司 (仁尾町)
境 定良 (詫間町)
塩田 倫久 (仁尾町)
田渕 博章 (仁尾町)
浅野 明弘 (仁尾町)
大西 均 (財田町)
大矢 和宏 (財田町)
林 勇志 (詫間町)
曾根 清文 (仁尾町)
矢野 博 (豊中町)
船橋 繁伸 (豊中町)

大山 利明 (仁尾町)
大西 材 (仁尾町)
倉本 博繁 (仁尾町)
尾崎 博 (財田町)
多田 元男 (山本町)
宇川 仁 (豊中町)
今井 康雄 (豊中町)
新出 清 (高瀬町)
故森 健 (高瀬町)
白川 廣司 (高瀬町)
北野 芳市 (詫間町)
故大井 正則 (高瀬町)
中西 勇 (高瀬町)
安藤 利行 (山本町)
三崎 尋晶 (高瀬町)
小野 忠明 (高瀬町)
小野 文善 (高瀬町)
内山 隆夫 (高瀬町)
近藤 昌昭 (財田町)
馬淵 和豊 (山本町)
角田 哲也 (山本町)
前川 尊夫 (高瀬町)
川崎 光陽 (山本町)
三野 優 (豊中町)
金山 信幸 (山本町)
白井 謙二 (高瀬町)
吉川 政秀 (詫間町)
谷川 智章 (財田町)
藤田 準一 (豊中町)
吉田 安宏 (仁尾町)

眞鍋 正敬 (詫間町)
岡崎 玉記 (詫間町)
矢野 隆志 (豊中町)
正田 尚記 (山本町)
米田 日出夫 (仁尾町)
西山 恵司 (詫間町)
藤井 昭弘 (詫間町)
豊田 賢二 (豊中町)
野田 浩二 (豊中町)
近藤 實 (高瀬町)
田中 恒男 (山本町)
今井 康行 (豊中町)
近藤 義行 (高瀬町)
眞鍋 準一 (高瀬町)
片桐 良兼 (山本町)
鈴木 計邑 (高瀬町)
秋山 和則 (山本町)
中西 光男 (山本町)
故西田 幸光 (高瀬町)
山下 敏 (高瀬町)
岩倉 栄 (山本町)
貞廣 憲男 (高瀬町)
篠原 茂 (高瀬町)
長谷川 謙二 (高瀬町)
白川 一人 (山本町)
篠原 明 (高瀬町)
獅々堀 伸一 (山本町)
眞鍋 保 (高瀬町)
松岡 忍 (高瀬町)
眞鍋 康夫 (山本町)

山本 忠実 (山本町)
白川 美光 (豊中町)
藤田 修 (山本町)
石原 数行 (山本町)
大石 守洋 (高瀬町)
大西 義見 (財田町)
小野 幸信 (高瀬町)
川崎 計一 (山本町)
次田 員宣 (山本町)
森 道敏 (山本町)
石山 学 (高瀬町)
荒木 正則 (高瀬町)
樋堂 智敏 (財田町)
福岡 正記 (山本町)
大西 剛司 (山本町)
増田 順年 (高瀬町)
矢野 孝一 (豊中町)
菅原 博文 (財田町)
安藤 俊孝 (仁尾町)
渡辺 浩二 (財田町)
窪 浩史 (財田町)
伊藤 修 (財田町)
有山 哲 (豊中町)
三野 年則 (財田町)
高島 定 (詫間町)
堤 弘志 (高瀬町)
片桐 正夫 (山本町)
白川 正美 (山本町)
三好 貴隆 (高瀬町)
細川 宗一 (財田町)

中西 忠徳 (高瀬町)
近藤 和晃 (財田町)
大西 正明 (財田町)
安藤 浩章 (高瀬町)
近藤 準三 (高瀬町)
中川 勝由 (詫間町)
筒井 孝二 (豊中町)
川崎 光輝 (財田町)
白川 智仁 (山本町)
小野 洋二 (山本町)
辻野 行則 (高瀬町)
故平井 文男 (山本町)
安藤 敬司 (山本町)
田中 治 (三野町)
山下 隆司 (詫間町)
森 諭 (三野町)
笠原 孝弘 (高瀬町)
岩田 吉史 (三野町)
西山 圭三 (財田町)
藤田 穂 (山本町)
山下 博 (財田町)
岩崎 靖志 (財田町)
青艸 新 (高瀬町)
高島 長男 (詫間町)
大楠 明 (詫間町)
若宮 文典 (詫間町)
篠原 静夫 (高瀬町)
藤川 正文 (高瀬町)
大平 三雪 (山本町)
白杵 豊美 (高瀬町)

善行表彰

●身の危険をかえりみず人命を救助

北野 貞光 (詫間町)
上田 雅昭 (詫間町)
若宮 文典 (詫間町)
高島 孝子 (詫間町)
山地 常安 (詫間町)

感謝状贈呈

●多額の寄付

三好 巖 (兵庫県西宮市)

▼問い合わせ
秘書課 ☎73・3001

市議会だより

平成23年第3回 三豊市議会定例会

平成23年第3回三豊市議会定例会は、9月1日から20日までの20日間の日程で開かれました。
今定例会では、平成23年度一般会計などの補正予算8件、税条例等の一部改正についてなど条例3件、動産の買入れなど2件、工事請負契約の締結について1件、市道の路線認定・変更について5件を含め合計19案件および「離島振興法」の改正・延長を求める意見書案を可決しました。
平成22年度決算認定については、議長・監査委員を除く24人による決算特別委員会を設置、委員会付託し、継続審査となりました。委員長に香川努議員、副委員長に川崎秀男議員が選任されました。



初日には、総額12億3,181万3千円の一般会計補正予算案についてなど、市長から議案の提案理由の説明がありました。
また、6日・7日・8日の3日間は、20人の議員が市政全般にわたる一般質問を行いました。
その後、各議案の細部にわたる審査は、総務教育常任委員会12日・15日、建設経済常任委員会1日・13日・15日、民生常任委員会14日に、所管の事項について行われました。
6日および20日の最終日には、所管の委員会に付託していた議案の審査結果について、各常任委員長から報告がありました。建設経済常任委員会付託の「市道の路線変更について」の2議案は継続審査の申し出があり、その他19議案すべてを委員長報告どおり可決しました。
請願「漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める請願書」については、継続審査となりました。
意見書案「離島振興法」の改正・延長を求める意見書についてを全会一致で可決しました。

■平成23年第3回三豊市議会定例会 審議結果

議案第77号 議案第90号	平成22年度歳入歳出決算認定 一般会計・特別会計（地域農産物利用促進センター事業・商品券事業・国民健康保険事業・国民健康保険診療所事業・老人保健事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・介護サービス事業・集落排水事業・浄化槽整備推進事業・港湾整備事業） 平成22年度決算認定 水道事業会計・病院事業会計	継続審査（全会一致）
議案第91号	税条例等の一部改正	原案可決（全会一致）
議案第92号	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	原案可決（全会一致）
議案第93号	詫間町防災行政無線放送施設条例の廃止	原案可決（全会一致）
議案第94号	動産の買入れ	原案可決（全会一致）
議案第95号	動産の買入れ契約の変更契約の締結	原案可決（全会一致）
議案第96号 議案第98号	市道の路線認定	原案可決（全会一致）
議案第99号 議案第102号	市道の路線変更	原案可決（全会一致） 議案第101・102号は継続審査（全会一致）
議案第103号	平成23年度一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
議案第104号	平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第105号	平成23年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第106号	平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第107号	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議案第108号	平成23年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第109号	平成23年度港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第110号	平成23年度水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第111号	工事請負契約の締結	原案可決（全会一致）
請願第1号	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める請願書	継続審査（全会一致）
意見書案第2号	「離島振興法」の改正・延長を求める意見書	原案可決（全会一致）

※ 議決年月日
議案第77号～90号（平成23年9月1日） 議案第111号（平成23年9月6日）
議案第91号～議案第110号・請願第1号・意見書案第2号（平成23年9月20日）

20日	21日	19日	18日	17日	14日	13日	12日	11日	9日	7日	6日	5日	3日	10月	30日	28日	22日	9月
離島振興市町村議会議長会	総務教育常任委員会視察研修	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会	議会議長 調査特別委員会

市政に対する一般質問

横山 強 議員

企業誘致について

問 被災地の企業から三豊市に、誘致の問い合わせは。
答 市に対して、進出の問い合わせはない。

問 被災地の企業に、三豊市へ積極的に誘致に向けての取り組みをしてはどうか。
答 大いに賛同する。被災地企業の支援と市内の雇用拡大の可能性も検討できるので、行政というより政治として、どこまで可能かを検討し、現状を市民と共有し、議会とともに第一義に取り組み、かつ、行動すべきと考えている。

問 被災地企業からの進出の申し出があれば、今後、三豊市としての取り組みは。
答 三豊市は工業団地としては、造成していないが、要請があれば直ちに造成をするというオーダーメイド方式を取っている。土地もあるので、要望により、海沿い、また、全く津波の影響のない山手、いかなる面積も、用地も構えることは可能であるので、優良企業に働きかける。

川崎 秀男 議員

三豊市の農業振興について

問 農業所得目標をいくらくに置き、主な作付体系をどう考えているか。
答 市農業経営強化促進基本構想の中で、農業を主業とする農業者が他産業従事者並みの年間農業所得を500万を目標とし、主たる農業従事者1人当たりおおむね380万程度、補助従事者1人おおむね120万の設定である。作付体系は、主要な18パターンほどの営農類型を示している。

問 農業振興センターの発足時期と業務について問う。
答 6月に要綱を施行し、発足しているが、9月補正が承認されれば、センター長と営農指導員2人、事務職他1人の5人体制で進めていく。業務は、大きな柱として、多様な農業者の経営安定、農地の保全と活用、地域農産物の販売促進の3項目であるが、農地の流動化および集積、定年帰農者の組織づくり、地場産品のPR強化などである。



西山 彰人 議員

市長の政策について

問 保育所について問う。市長は保育所を新たに建設し、民間に運営させると言っているが、補助金を出すならともかく、建物を建てて民間に渡すことに驚く市民が大勢いる。正確な情報を提供し、市民と議論する気はないのか。
答 民間はコンセプトを持った運営をするので、保育所が複数ある町は、民営化を推進する。(詫間町・高瀬町は1カ所を公営にし、他は民間に)

問 学校の統廃合や給食センターを2カ所だけにすることについて。過去に詫間町と山本町では、市民の議論によって単独校方式を選択したが、今回は議論されていない。センター化によって、配送時間が2時間近くかかり、味が落ちる。福島原発事故を見て、正しい情報を伝えて、市民の声を聞き、議論すべきと思うがどうか。
答 学校のことは教育委員会に任せている。市民の声は反映されていると思う。

鴨田 偕 議員

三豊市の高齢者に対する福祉計画について

問 本市の高齢化比率は20年後は37%となる。現在、市内において老老介護やひとり住まいで介護サービスが必要とする人また施設入所を希望する人が、入所待ちということに困っているようだが、施策の考えを問う。
答 次期高齢者福祉計画および介護保険事業計画を策定している。介護サービスの充実強化に関しては、介護保険における最も生活上の介護を重視した施設である介護老人福祉施設、いわゆる特別養護老人ホームの適正な整備に努める。第4期計画では介護老人福祉施設の整備数を70床予定している。

問 本市の入所希望者705人のうち、入所対象者はそのうちの2割の148人となっている。
答 希望者705人のうち、入所対象者はそのうちの2割の148人となっている。



込山 文吉 議員

危機管理体制

問 本市における危機管理体制の問題について問う。
答 市長を責任者とし、危機管理体制の点検・再検討を加え安全・安心の確保に努める。瞬時警報システムやエリアメール、被災者支援システムの導入などに優先して取り組む。

問 本市節電対策などを問う。
答 三豊市エコオフィス計画を定め、地球温暖化防止に努めている。中長期計画に基づき、照明・空調機器を省エネタイプに改修・更新していく。
うつ病対策と老人の見守り

問 内科と精神科による医療チーム作りの取り組みおよび独居老人の見守り対策を問う。
答 精神保健福祉士や保健師を活用し、心の健康相談事業の実施や医療機関との連携を図り、支援体制の充実に努める。しおりやパンフレットの配布・ストレス測定器の導入で啓発に取り組んでいく。
見守りとして、緊急情報キットの推進や、要援護者登録など併せて地域全体で見守る。

浜口 恭行 議員

人口増加施策について

問 若者定住促進事業の見直しを含めた、本市における人口増加施策を問う。
答 若者の定住支援施策だけでなく、団塊の世代の移住人口の増加支援策、移住交流やUターン・リターン支援、空き家バンクの設置など、住みよいまち三豊を目指し、全的に取り組んでいきたい。

市学校再編整備計画について
問 計画の今後のスケジュールを問う。統合反対校区の基本方針の変更はあるのか。
答 教育委員会の本務の一つは、三豊市の子どもたちをどうするかということを考えることである。今後の話し合いの中での賛否両論とか、少数の意見など、さまざまな意見や考え方を尊重して、これからも協議を進める中で御質問の一つひとつにお答えしながら御理解を得られるよう努めていきたいと思っている。



小林 照武 議員

港内にある沈没船や放置艇を早期に撤去せよ

問 市内の港湾や漁港内には廃船とおぼしき放置艇が数多く見受けられるが、その数の実態と漁業に従事される皆さんの安全操業につながる環境整備づくりとして、市側の法的整備へ向けての期間を含めた対応姿勢を問う。
答 本市の場合、県管理港湾2港と市が管理する6港湾および9漁港を有しており、合わせて1,183隻が係留され、そのうち沈没船が4隻、放置艇が147隻である。県管理の場合、港湾法に基づく放置等禁止区域の指定があり、法に基づいた撤去指導が可能である。市が管理の場合には、現在地元漁協の協力を得て所有者の調査をし、移動や撤去の指導をしているが、港湾法および漁港漁場整備法に基づく、抜本的な放置等禁止区域の指定が必要であり、現在準備検討中であるが他市の状況から判断しておおむね2年の準備期間が必要とみている。

詫間 政司 議員

集落内市道整備について

問 人口減少時代にあつて、大地震や豪雨による自然災害が現実味のある今、安全で安心な生活の場とはどこなのかを見極めるときが来た。代々人が生活の場とする集落は、古来からの度重なる自然災害から守られた場である。ここを、現代に相応しい安全安心な生活の場として再構築するためには、集落内市道整備が必要だ。政策化について問う。
答 集落が時代に対応できていないのが実情だ。住むのに一番良いはずの集落から、若者が出て行く状況が市全体で発生している。放置家屋に対する新税の創設など、時代の切り替えには相当大胆な施策で臨む必要があると考える。

児童館の活動について
問 4館ある児童館は、いずれも児童館の名称でありながら2部課の所管に分かれている。活動の差異について問う。
答 利用料金統一を本年度行っている。名称変更など、すぐの対応は難しいが検討したい。

前川 勉 議員

再生可能エネルギーと節電

問 太陽光発電の拡大策と他の再生エネルギー利用の可能性および市独自の節電対策について問う。
答 拡大策は既補助制度を拡充し、今後基本的に新設公共施設には設置していく。再生エネルギーの利用は小規模水力発電や太陽熱発電を検討したい。節電取り組みでは庁舎内電力使用の効率化で7%を削減した。照明のLED化は順次進めていく。学校では児童の節電意識の習慣化が家庭に広がるように取り組んでいる。

放課後児童健全育成事業
問 潜在的な社会問題となつてくる若者の「内向き志向」は小学校時の囲い込まれた放課後の在り方が一因ではないのか。
答 放課後児童クラブは児童育成の理念・責任において実施しているが、在り方やコスト面で限界を迎えている。児童には「生きる力」が不足しているといわれ、放課後教育の中で新しいシステムを考える時期に来ている。

為 広員 史 議員

0歳児、1歳児の待機児童

問 0歳児、1歳児の待機児童をなくする方法を問う。
答 各年度とも前年の11月に受け付ける入所申し込みに基づき、入所計画を立て、児童の受け入れを行っている。0歳児、1歳児の待機児童の状況は、入所申し込みの受け付けの期間後に、52人から入所希望の相談を受けており、入所要件などについて確認できないケースもあり、確定した数値ではないが、そのうち0歳児2人、1歳児9人が入所している。当初の入所計画に予定している児童を受け入れるためには、保育士の確保に苦慮している現状や、保育所によつては、保育士の基準面積を確保できないという状況から、当初(11月申し込み)の計画に予定していない児童の受け入れは、現状は非常に困難な状況にある。

他に「フリースセンターおよび最終処分場の処置」「給食センターおよび単独調理場での食品の安全管理」を質問

瀧本文子議員

工場用水の料金統一について

問 市内大手企業が使用する年間水量・単価・年間料金は。大手企業3社と他の中小企業では単価に大きな差がある。法により料金設定は公平性が求められるにもかかわらず、料金統一ができていないこと、また市民にこのことを明らかにしなかった点について問う。

答 大手企業の使用水量などは、法人であれ人格を持つ相手手を特定して発言することは、情報公開条例にのっとって慎重に扱うべきと考え、答えられない。大手3社の単価は企業誘致時の覚書を踏襲しており、それを尊重するのは当然のことである。県から安い「工業用水」を引けるよう議会も協力願いたい。

男女共同参画について

問 市役所女性管理職は人数・勤続年数からみて男女差が大きい。もっと裾野を広く管理職の登用、増員を願いたい。

答 新しいステージに向け女性職員には期待し激励しているところ。十分検討していく。

近藤久志議員

水道事業の現状と将来構想について

問 一般水道料金の平準化を図るためには、工場用の定義を示し、条例に記述すべきでないか。価格差異は、条例違反ではないのか。

答 一定の定義はなく、個別企業との誘致交渉により合意している。詫間町から条例を引き継ぎ、条例に沿って、処理を行っている。法令の解釈も研究しながら整理する。

問 自己水と香川用水の受水割合、自己水源確保策は。

答 県水7割、自己水3割であり、自己水はコストを考えると、良質でかつ相当の水量が確保できなければ、平常時は、県水を受水するほうが合理的である。

問 汐木浄水場の機能低下の原因と改善策について問う。

答 22年度に、機器の故障など、浄水場更新費用が多額に上る事から、高瀬川の取水は中止し、汐木浄水場の運用は継続せず、県水100%で、送水することが合理的である。

多田治議員

市長の政治姿勢について

問 市長は政策判断する折、メディアがどう取り上げ、有権者がどんな反応するのかに関心が行き過ぎていたのではなか？

答 いつも次世代にとって何が一番いいのかということを中心に判断している。市民の反応には、より関心を強めて判断していきたい。

幼稚園、中学校の空調機設置を早く

問 本年度予算で、市内の全幼稚園・全中学校に空調機の設置を夏休み中に予定していたが、どうなっているのか？国からの交付金がなくても、合併特例債を活用して、早めに設置すべきでないか。

答 当初の予定では、5月頃、国の交付金の内定を受けて着手の予定であった。文部科学省に問い合わせても不透明で、内定の可能性は非常に低い。財源の問題はあるが、議会の承認を得られれば、合併特例債、一般財源で実施できればと考えている。

金子辰男議員

経済産業施策について

問 新総合計画では、経済振興に重点的に取り組むとあるが、具体的な施策は何か。

答 地域活力向上と雇用の場確保など、企業誘致・産業空洞化に対応するため、議会とともに政治レベルで、大胆に市産業活動の魅力をつくりあげていく必要があると考える。

農業振興策について

問 ビジョンが見えない。農業振興施策への農業者の理解と参加、施策の調整状況は。

答 担い手の確保・育成および地産地消の推進、ブランド化の推進、6次産業化の推進、優良農地の確保と遊休農地対策を講じるとともに、担い手育成総合支援協議会、農業経営者協議会との意見交換会を積極的に設けていきたい。

定住対策について

問 情報の収集と発信に工夫と強化が必要ではないか。

答 定住対策事業は、本市の総合力が問われる施策であり、今後とも斬新な取り組みを、失敗を恐れず努力したい。

藤田公正議員

市の情報化政策について

問 本市の固定系およびモバイル系のインターネット利用者の把握はできているか。情報化政策として、まちづくり・行政改革・地域経済にどのような取入れていくか問う。

答 本市のインターネット利用者は、固定系で8,100件、モバイル系で3,000件が利用されている。まちづくりとして、ホームページによる情報提供やメールマガジン、シティモバイルを開発。行政改革という観点から他市町の動向を見据え検討したい。地域経済として、コミュニケーションツールの構築を、農業・商工業団体と検討したい。

問 情報化政策は、市が取り組みの方向を示すもの。しかし、市長・部長・担当がかわると事業が遅れたり、関心がなくなるようではいけない。そのためにも、地域情報化基本計画が必要と考えるが。

答 情報化の能力や技術力は重要な課題である。地域情報化基本計画は検討したい。

岩田秀樹議員

東日本大震災の復旧・復興に本市も最大限の支援を！

問 戦後最大の国難として、国民の力の総結集で、被災者支援を図ることが課題となっている。被災地の現状を知り、「人のために何かしたい」と、被災者の苦しみ心をよせ、仲間と協力して被災地支援に参加する者もいる。

現状では、自治体など職員の支援は、復興の中で一層求められている。被災地では、「地域の絆」の重要性がいわれ、市民も学ぶべきことが多い。本市としても、観光も含めるなどボランティア募集をして、現地の支援に行くべきと考える。

答 地震発生から6カ月が過ぎた。自衛隊や警察、消防関係の救助・救護に始まり、義援金、義援物資などの援助活動や自治体職員の応援派遣により、一定の自治体機能を取り戻すことができた。本市としては、職員の派遣を行っており、独自のボランティア募集は計画していない。

水本真奈美議員

安心安全なまちづくり

問 自主防災組織結成状況と防災訓練状況・課題を問う。

答 合併時130団体から現在270団体と倍増。訓練は、昨年度17組織、本年度は現在までに11組織が実施。広域消防の協力など得ながら、積極的な訓練実施を呼びかけていきたい。

児童虐待について

問 児童虐待の情報を得たときの対応ならびに件数を問う。

答 事実確認後、緊急危険度の高い場合は児童相談所へ送致し依頼。市で支援可能な場合、安全確認など初期対応し、教育委員会など関係機関の連携で継続的支援も実施。件数は、22年度31件と年々増加。

問 虐待防止に有効な乳児家庭訪問事業と命を大切にすること、教育・取り組みを問う。

答 出産後2カ月前後に乳児全戸訪問を実施。フォローが必要な場合は定期的に訪問を継続。学校などであいさつや生命尊重の取り組みを実施。今後、保護者と共に学べる講演など取り組んでいきたい。

山本明議員

有害鳥獣被害対策について

問 被害が拡がる有害鳥獣対策について問う。

答 現状、駆除用のわななどの購入補助・被害対策用ネット設置補助・狩猟免許取得の補助などを行っている。本年度はネットなどの設置事業の補助要件を拡大し、受益者2戸以上で取り組むと、補助率を事業費の2分の1から3分の2以内に引き上げ、すでに実施している。



また、猟友会や関係機関の協力により、三豊市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、国に対して事業申請を行っており、本年度は箱わな17基を購入する予定としている。その他、受益者3戸以上で行う鳥獣被害防止施設の整備についても、補助事業の対象となっているので、今後は市内で集団で取り組む組織づくりを推進してまいりたいと思う。

他に「宝山湖多目的広場(南造成地)」を質問

坂口晃一議員

現状組織で市改革はできるか

問 ①組織の改善案はあるか。②各支所の役割と方向性を示せ。③人事考課制度の効果と今後の方針は。

答 ①山積する政策を効率的に推進するため、組織の再編は来年度当初から行う。②支所の在り方は窓口業務を中心に統合の必要性、公民館・社協との機能強化で検討する。③人事考課制度導入3年、今後実施。職員の意識改革は評価できる。来年より目標管理制度の導入を考える。

公共施設・公有財産の有効活用について

問 ①公共施設の管理と所管の機能は万全か。②遊休施設の処理計画を示せ。③公有財産の管理ができていない。

答 ①行政財産の統括的所管は政策部、普通財産は総務部。②現状では整理が遅い。今後整理を急ぐ。今後増加する遊休施設の活用スピード感を持つて組織をあげて取り組む。③組織のなかで各所管の方向性、方針を確認する。

三木秀樹議員

原発問題、高瀬南部保育所の公設民営化方針を問う

問 県市長会などで伊方原発に関して、市長は確認含めて発言するとの事だったが。

市長 まだ開催がないが、この問題は、原発技術そのものの疑問が総論として私の中にある。使用済み核燃料の最終処分場が決まっている事、事故後の動きから原発の安全を保障する責任者なのかなどを取り上げて発言していく。

問 高瀬南部保育所を改築し、なぜ公設民営化するのか。利益追求を目指す民営化のデメリットも説明するのか。

答 今年3月策定の市保育所運営計画で旧町単位ごとに1カ所は公立。複数ある高瀬、詫間では民営化を推進する方針から行っている。民営化の保育所でも保育指針などに基づき児童、保護者のニーズに合った運営が行われる。

他に「広報みとよ5月号掲載の出産祝金事業廃止問題」「国保の税滞納者問題」を質問

総務教育
常任委員会

9月12日・15日開催の総務教育常任委員会には、付託された3議案を審査し、1意見書案を協議した。

建設経済
常任委員会

9月1日・13日・15日開催の建設経済常任委員会には、11議案および1請願が付託され審査した。

民生
常任委員会

9月14日開催の民生常任委員会には、9議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁
詫間町防災行政無線放送施設条例の廃止

問 アナログ放送に関わる情報機器の処分調査はあるのか。

答 基地局機器と戸別受信機器があり、備品については台帳の整備を行っている。関係施設の撤去は24年度に予定しており、すでに調査を終え把握している。

動産の買入れ

問 サーバーのやり変えは3回目で、システムの業者に固定化すると思うが問題はないか。

答 今回の機器の購入は、一般競争入札を導入した。結果的に機器は同じ業者になったが、指名ではない一般競争入札としたため、競争性が働いたと考える。

23年度一般会計補正予算
関係部分

問 吉津小学校の消火栓配管工事は、敷地の盛土

部分の沈下が原因と考えられるが、抜本的な修繕工事となるのか。

答 22年度も校舍消火栓の配管が同じような状態になり、地中配管から地上配管にした。今回も同じ方式を考えている。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

「離島振興法の改正・延長を求める意見書(案)」

国に対して、離島振興対策の見直しを要望するため、意見書(案)を提出した。



主な質疑と答弁
23年度一般会計補正予算
関係部分

問 農地・水保全管理支払交付金事業補正は、交付対象枠を拡充しようとするものか、対象を精査しようとするものか。

答 23年度に制度の変更および拡充があり、一定規模の事業量が確保できるように、対象経費の拡充がされたもので、向上活動支援交付金が交付されることとなった。

問 農業振興センター予算500万円はどのように使われているのか。

答 農業振興センターの事務所を民間施設の借用により準備し、水道や電気工事・事務機器の購入の経費・営農指導員2人の雇用およびその活動にかかる経費である。

市道の路線変更

問 国道11号線の4車線化に伴い、地元自治会の生活圏が遮断されることを

回避するため、市道の拡幅が必要であるとの説明だが、地元から要望書は出ているのか。市道の拡幅でなく、側道や歩道橋・横断歩道の設置により、生活圏の遮断を回避する方策の検討や要望を国や県に対して行っているのか。

答 地元からの要望書は提出されていない。歩道橋は既存のものを設置するだけで、当該地には計画はなく、市道を拡幅する方向で進んでいる。

以上、各議案とも慎重な審査を行い、議案第101号・102号「市道の路線変更について」は、国道4車線化計画との関連が大きく、さらに審査を行うべきと継続審査に、その他の9議案は原案どおり可決した。

請願「漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書」の提出を求める請願書は、継続審査となった。

主な質疑と答弁
病院事業の設置等に関する条例の一部改正

問 県下で精神病床が不足しているというが、永康病院は希望がなかったのか。

答 事前に調査があり、永康病院は希望がなく、西香川病院は認知症対策として、介護療養型を5床減らして、今回増床したいとのことだ。

問 全病床数150床にこだわらず、5床を増床しては。

答 施設整備が必要であることと、一般病床・療養病床とも三豊市、観音寺市で構成の三豊保健医療圏では、既に計画数をオーバーしており、新設増床は不可能である。

23年度一般会計補正予算
関係部分

問 社会福祉総務費の災害要援護者マップ整備事業は、既に本市全体図が電子化されているものを

利用するのか。

答 現在使用の市の地図情報と災害要援護者システムと連動させる。

問 ストレス測定器を購入するが、台数と設置場所は。

答 1台購入し、市民課の前の壁際に設置したい。



*約1分間の測定で、心と身体
のバランス・リラックス度が
分かる。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり可決した。

高速無線ネットワーク技術でブロードバンドサービスを展開
NPO法人Hug-Communications (三野町)



▲地域振興や災害時にも柔軟に対応する無線通信網を目指しています

ライフラインである情報通信網を、より安く多用途に活用できる方法を提案する NPO 法人 Hug-Communications (ハグ・コミュニケーションズ)。地域振興の基盤整備を目的に、高速無線を利用したブロードバンド・インターネット接続サービスを提供しています。未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、有線による情報通信網のむろさが露呈しました。しかし無線なら機器さえ動けば通信が可能で、停電時は自動車などから給電することもできます。しかも、有線ラインを引く必要がなく、短期間で広範囲に通信網の整備ができます。近年の無線技術の進歩は目覚しく、高速化と安定性が両立され光ケーブルの中継に利用されているほどです。「家々までのケーブル敷設が不要、光ケーブルに劣らない通信性能、設備や運用コストの低さ、大手にはできない地域密着型事業展開など、多くの特色があります。今や、少子高齢化・過疎・防災などの地域課題解決には、地域特性に応じたインターネットの活用が欠かせない時代です。ハード・ソフト両面から地域活性化につながる仕組みを作りたい」と、事務局長の齋藤さん。現在、三野町全域に加え詫間町松崎・須田地区も開局。今後、栗島などの島しょ部を含め市全域への拡張を目指しています。

みとよの
がんばる
中小企業
10

三豊発!! タケノコの生命力を活かした肥料

高瀬町村興し炭焼会(高瀬町)

竹炭や竹炭かご、竹酢液などの竹炭製品を中心に製造販売を行っている高瀬町村興し炭焼会。

会長の吉田さんは平成4年から竹資源を活用した製品事業に着手。平成12年には香川県むらの技能伝承士に認定。以来、竹炭・竹炭酢の作り方を県内各地で指導し普及活動に取り組んでいます。

今回は、1日で1m強伸びると言われる竹の生命力を活かしたタケノコ肥料の商品化に取り組みました。



▲効果が実感できるタケノコ肥料

取り組むキッカケとなったのは竹酢液。殺虫殺菌作用や土壌改良剤としての実績もありますが、材料の竹を山から切り出して来るのはかなりの重労働。そこで、誰でも簡単に採れるタケノコで肥料を作れないかと思立ちました。

タケノコ肥料は、粉碎して乾燥させたものと、発酵させて液を抽出したものとで南国フルーツのデコポンを使って検証しました。吉田さんは「もともと寒さに弱いデコポンですが、タケノコ肥料を使いながら栽培すると通常13度程度の糖度が18度にまでなり、ものすごく甘いデコポンに育ちました。タケノコ肥料の生命力には驚くことばかり」と試行錯誤を繰り返しながら、いち早い商品化を目指しています。



▲麻幼稚園園児と勝間小学校児童もエキストラで参加

監督・主演の2人にインタビュー



アナマ・ジュリー役
橋一二三さん

ジュリーは親善大使でしたが、戦争が始まると手のひらを返される。戦争がいかに人の心を変えて悲劇をもたらすのか…。何が正しい情報なのか見極め、考えて行動することが大事ということを感じてもらいたい。自分の良心と信念を持つことが大事であることを映画を見て感じてほしい。



香川一平役
広瀬将太さん

三豊市の景色はほんとビックリするぐらいきれいなので、市民に見ていただいて、自分の町を自信を持って外に広めるために、この映画を使ってもらえたらうれしい。
詫間のスベリ（滑走台）も、悲しい場所ではない。あそこにこういうものがあつたことを知った上で思いを巡らせてほしい。



村尾俊二監督

地域に根ざした郷土の歴史を見直して、みんながいろいろと考えられるような映画に仕上がったと思います。
戦争が引き裂いた日米夫婦の半生を通じて、風化させてはならない戦争を、この映画をきっかけにして、今一度考えてほしい。

▼問い合わせ 三豊市観光協会 ☎56・9121

さぬき映画祭2011

日程 11月26日(土)

場所 マリンウェーブ

有料映画(500円)

午前10時30分
「うまれる」

無料映画

三豊市を中心に県内で撮影された映画です

午後1時「ジュリーの海&空」

午後2時「さぬき巡礼ツアー」

午後3時「チンゲンサイの夏休み～青菜的暑假～」



チンゲンサイの夏休み～青菜的暑假～

▲問い合わせ マリンウェーブ ☎56-5111

太平洋戦争と三豊

ジュリーの海&空



三豊市を舞台に撮影が行われた『ジュリーの海&空(うみとそら)』が
11月26日(土)にマリンウェーブで公開されます

三豊市を舞台に撮影が行われた映画『ジュリーの海&空』

この映画は、昨年11月「さぬき映画祭2010」実行委員会が全国公募した第5回「香川をイメージする映像作品企画募集」において優秀企画(シナリオ)4作品の1つに選ばれた村尾俊二さんの作品を映像化したものです。

詫間海軍航空基地と青い目の人形

村尾さんは昨年8月に「三豊・観音寺の文化を育む会」が主催した「旧詫間海軍航空隊跡地巡りと仁尾町青い目の人形見学」に参加。その際、2つの大きな衝撃を受けてシナリオを書き始めました。

1つは、香川の地からも神風特攻隊が出撃したこと。太平洋戦争敗戦の年の4月以降、詫間海軍航空基地から神風特別攻撃隊の水上戦闘機が25機、沖縄周辺の米軍艦船に自爆するため飛び立ち、57人もの若者が散華したという歴史的事実。

もうひとつは、戦時下における日米国民の大きな対応差についてです。米国と日本との嫌悪な関係を憂慮した親日家の牧師が、全米各地に働きかけ、日本全国に親善大使として約1万3千体の青い目の人形を贈りま

した。その答礼として日本も58体の日本人形を米国に贈りました。しかし、太平洋戦争が始まると、青い目の人形は、米国のスパイとか憎しみの対象にされ、竹やりで突かれたり、焼かれたりしました。香川県に贈られた108体のうち、ジュリー1体だけが難を逃れました。そのジュリーは、現在、仁尾の吉祥院で大切に保管されています。

舞台は昭和初期の仁尾

内容は、主人公の香川一平が日系2世のアナマ・ジュリーと出会い、結婚。幸せな家庭を築こうとした矢先に太平洋戦争が始まり、二人は離ればなれになる中で、日米の男女の愛と哀しみを通して、切ないながらも幸福に浸る爽やかなヒューマンドラマです。



▲香川一平とジュリーの結婚式(財田町の鉾八幡神社)

太平洋戦争の体験談を募集しています

「太平洋戦争と三豊」というテーマで、太平洋戦争にかかわる体験談の発刊を計画しています。戦争を事実として残し、平和に与することを目的に作成するもので、皆さんから体験談を募集します。当時の体験談を文書でいただける人、または、お話しただけの人、生涯学習課までご連絡ください。体験談集策定委員がお伺いします。

「太平洋戦争と三豊」体験談集策定委員(敬称略 順不同)

増田 幸一(高瀬町)
藤田 昌示(〃)
近藤 行雄(山本町)
藤田 明美(三野町)
西村 忠臣(豊中町)
曾根 幸一(〃)
小林 静夫(詫間町)
真鍋 道弘(〃)
中井 良祐(仁尾町)
山崎 雅信(財田町)
和田 仁(学識経験者)
三谷 等(遺族会)
矢野 文雄(〃)



▲戦争体験者から当時の体験談や貴重な話を伺いに行きます

▼問い合わせ
生涯学習課

☎62・1113



10/11 ブドウ狩りで秋の味を満喫

大浜幼稚園と箱浦幼稚園の園児が村沢健次郎さんの園でブドウ狩りをしました。園児たちは、お気に入りのブドウを見つけてはハサミで次々と摘んで袋に入れ、袋いっぱいになったブドウを抱えてとってもうれしそうでした。



9/21 健やかに育てと八朔だんご馬づくり

子どもの健やかな成長を願って作る「だんご馬」。木や針金で形作った型枠にだんごの生地を盛りつけて馬の形に仕上げます。参加者はそれぞれの思いをこめて、ていねいに仕上げていました。



10/15 五穀豊穡を願いどぶろくまつり

豊中町宇賀神社で、御神饌として造られた「どぶろく」を神に供え五穀豊穡を願う「どぶろく祭り」が行われました。「どぶろく」は神社を訪れた氏子や参拝者にもふるまわれ、多くの人が珍しいお酒の味を味わっていました。



9/23-25 仁尾の歴史を感じる八朔人形まつり

第14回仁尾八朔人形まつりが行われました。NHK大河ドラマ『江〜姫たちの戦国〜』にちなんだ舞台や、香川高専のさるかに合戦など、何週間もかけて製作したジオラマや人形が昔ながらの町並みに飾られ、市内外から大勢の人が訪れました。



10/16 元気いっぱい！弾ける踊り子

第10回やまもと爽郷祭りが山本ふれあい公園で開催されました。華麗な衣装でエネルギッシュに舞い踊る、迫力あるよさこい連の踊り子たち。地元獅子舞の競演やものまねお笑いショーもあり多くの人でにぎわいました。



10/8-9 「がんばろう 日本！」を合言葉に

豊中町帰来自治会の皆さんが東日本大震災被災地の皆さんを少しでも応援できたらと、自分たちでワッペンを作って、秋祭りの間、みんなに声をかけて販売。その売り上げをすべて義援金として被災地に送金しました。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)



8/28 なぎなた全国大会で優勝

第15回エンジョイなぎなた全国大会で、香川隆子さん（高瀬町）が優勝しました。40歳以上の人が参加し、演技競技の部と試合競技の部で年齢別に競う同大会で、香川さんは試合競技70歳以上の部で優勝しました。



10/16 みとよは元気だ！商工まつり

第5回みとよ商工まつりが、マリンウェーブと周辺駐車場で行われました。ダンスやフラメンコの発表、アームレスリング大会など催し物が盛りだくさん。三豊の物産販売などのバザーもあり、たくさんのお店が出店しました。



10/15 たからだの里に大正琴の音色が響く

たからだの里ふるさと伝承館で「蘭はあとアンサンブル」による大正琴の演奏がありました。音楽療法士でもある「蘭はあとアンサンブル」が奏でる大正琴の調べは、心が癒されるようでした。



9/14 財田中小学校の実習田で稲作アート

財田中小学校の5年生が、文字が浮き出るように文字の部分は古代米を、その他の部分はもち米を植えた実習田の稲作アートが見ごろを迎え「希望」という文字がはっきりと浮き出てきました。



9/29 きれいな川にと願いメダカの放流

三豊淡水漁業組合青年部が、上高瀬小学校の5年生と一緒に高瀬川でメダカの放流をしました。同組合青年部は、常に河川環境美化に取り組み、今回は半年かけて約3万匹にまで繁殖させたメダカを、上流側から数回に分けて放流しました。

がん検診のお知らせ

●胃がん・結核・肺がん・大腸がん検診●

集団検診は今月が最終となります。胃がん・結核・肺がん・大腸がんの検診は、9月に白い封筒を送付しています。同封の「ご案内」をよく読んで、検診受診時には必ずご持参ください。**胃がん検診は予約制です。9月・10月に受診できなかった人**、検診の申し込みがまだの人は、健康課までお問い合わせください。

場 所	月 日	受付時間
三野町保健センター	11月7日(月)	胃がん 個人通知で お知らせします
	8日(火)	
	9日(水)	
	10日(木)	
	11日(金)	
豊中町保健センター	14日(月)	結核・肺がん 大腸がん (検査容器回収) 9:00~11:00
	15日(火)	
	16日(水)	
	17日(木)	
	18日(金)	

◎65歳以上の人は、感染症予防により年に1度は必ず結核検診を受けましょう。

●結核・肺がん検診●

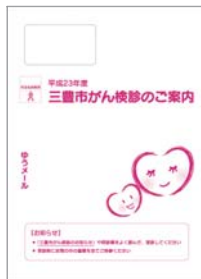
場 所	月 日	受付時間
三野町保健センター	11月7日(月)	13:30~14:30
豊中町保健センター	14日(月)	

●子宮頸がん・乳がん医療機関検診●

2年に1度受診できます。今年度まだ受診していない人は、12月末まで指定医療機関で受けられますので、健康課までお問い合わせください。



この大腸がん検診の無料クーポン券をお持ちでまだ利用していない人は、この機会にぜひ受診してください。



健康長寿応援

認知症について理解しよう

全国的に高齢者人口が増えるに従い、認知症高齢者も急増しています。三野市も例外ではありません。85歳以上の4人に1人、75歳以上の10人に1人は認知症であると言われています。

【認知症とはどんな病気なのでしょう？】

認知症とは、脳に起きた何らかの障がいによって、いったん獲得された知的機能（記憶する、時・場所・人などを認識する、計算するなど）が低下し、日常生活を送ることが困難になる病気です。

【認知症の主な症状】

もの忘れがみられると「もしかして認知症？」と心配になりますが、老化にともなう年相応の物忘れと認知症の物忘れは違います。年相応の物忘れは体験の一部分を忘れることにとどまりますが、認知症の場合は体験の全体を忘れることが特徴です。例えば食事についての記憶では・・・



認知症の初期には
新しいこと、時間や場所を覚えられない
計画的に順序だてて行動できない
以前よりも怒りっぽくなる
外に出ることをおっくうがる
身なりを気にしなくなった など

「ちよっと変だな」と思ったら早期に医療機関を受診したり、地域包括支援センターにご相談ください。

▼問い合わせ

地域包括支援センター（介護保険課内） ☎73・3017

「福祉のつとめ」求職者等サポート講座

福祉現場で求められる技術や知識の講習を行い、介護技術の向上や福祉の職場への就労サポートを目的としています。

対象

福祉の職場への就職を希望する人
福祉の仕事に関心のある人
介護技術の向上を望む人

日時・場所・内容

第4回	第3回	第2回	第1回	開催日	場所	内容
2月10日(金)	12月9日(金)	11月26日(土)	※11月5日(土)	10月28日(金)	サンサン館みき	移動・移乗介助 講義13時~14時 実技14時10分~16時
1月15日(日)	※12月3日(土)	11月9日(水)	さぬき福祉専門学校	講義13時~14時 実技14時10分~16時	サンサン館みき	着脱介助 講義13時~14時 実技14時10分~16時
香川短期大学	サンサン館みき	サンサン館みき	サンサン館みき	排他介助 講義13時~14時 実技14時10分~16時	自由課題 講義13時~14時 実技14時10分~16時	

※11月5日(土)・12月3日(土)は9時~正午

参加料 無料(要予約)

定員 各10人(5人以上で実施 ※先着順)

申し込み期限 開催日の1週間前

※定員になりしだい締め切ります。

▼申し込み・問い合わせ

香川県福祉人材センター ☎087(833)0250

みとよHOT ほっとNEWS



9/15 笑いで母校の受験生にエール

桂こけ枝さんが、母校の高瀬中学校で、これから受験を迎える3年生に笑いでエールをおくろうと講演会を開催しました。「明日に向かって羽ばたく君たちへ」という演題で、自分の体験談なども交えておもしろおかしく話してくれました。

10/8 地域で支え心をつなぐ健康福祉まつり

高瀬町農村環境改善センター周辺で、みとよ健康福祉まつりが行われ、ボランティア団体や学校など30団体以上が参加しました。また、阿藤快氏による特別講演も行われ大勢の人でにぎわいました。



10/5 香川用水の仕組みをアフガニスタンに

(社)国際農林業協働協会がアフガニスタンの復興を支援する「紛争復興支援のための農民リーダー研修事業」の視察団が、香川の水管理システムを参考にしようと、香川用水や香川用水記念公園を視察見学しました。



みとよHOT ほっとNEWS



10/4 交通指導員に辞令交付

三野市交通指導員の辞令交付式が行われ、新たに交通指導員になる岩本公さん（山本町）に、辞令が交付されました。交通指導員は子どもたちの登下校の見守りなど、地域の交通安全に貢献しています。

発達障がいについて 知ってください(2)

子どもの頃に現れやすい特性

例えば・・・

※説明や指示を理解することが苦手

言葉だけで説明されても、なんだかよくわからない。それに、誰に言っているのかもわからないわ。



※片付けが苦手で忘れ物が多い



どうやって片付けたいのかわからないんだ。それに、忘れ物をしないようにしようとしても、うまくいかないんだ。

※思いどおりにならないと混乱してしまう

急に予定が変わると、ものすごく不安になっちゃうの。それに、すぐには気持ちを切り替えられないわ。



※すぐに手が出てしまう

嫌なことを言われりすると、すぐに手がでちゃうんだ。それに、どんな言葉も言いたくないのかわからないよ。



他にもこんな特性があります・・・

身体を動かすことが極端に苦手／不器用／席に座っていられない／唐突に行動をする／感覚が極端に敏感または鈍感／思ったことをそのまま言ってしまう／知的な遅れはないが、読み書き・計算などのうち特定のもので極端な困難がみられるなど

※このような特性があったとしても必ずしも発達障がいというわけではありません。発達障がいの特性がどの程度現れ、どの程度困っているのかは、人によってそれぞれ異なります。

「授業中に集中できず、すぐ席を立つてしまう」「集団行動が苦手」などの問題を抱えている子どもの中には、発達障がいと思われる子どもがいます。このような子どもは、いいところがたくさんあるのに、ちよつとしたことがすごく苦手ということがあり、友だちとうまくかかわれない、指示されたことがよくわからないなどで困っています。

※12月広報では「大人の発達障がいの特性」についてお知らせします。

▼問い合わせ 福祉課 73・3015
子育て支援課 73・3016
学校教育課 62・1139

子育て・子育て講演会

日時 11月20日(日)

午前10時～11時30分(受付9時30分～)

場所

高瀬町農村環境改善センター

対象

子育て真っ最中のパパやママ

演題

「うちの子だいたいじょうぶ?」子どもの個性と発達障がい・子どもの人生を豊かにするために親ができること

講師

香川子ども子育て研究所所長 常田美穂氏

申し込み期限 11月15日(火)

※託児有(定員になりしだい締め切り)

申し込み・問い合わせ

子育て支援課 73・3016

健康 知って得情報

みんな元気に

増える糖尿病!

香川県は、平成20年度から糖尿病受療率(糖尿病治療を受けている推定患者数を人口10万人あたりで示したもの)が全国ワースト1位になっています。

また、糖尿病の1人当たり国保医療費額も、西讃地区は他の地区に比べて高くなっています。糖尿病は血液の中のブドウ糖が増えすぎることによって血管が傷つき、脳卒中や心臓病、腎症など重い病気を招きます。合併症が出るとたくさんの医療費がかかるだけでなく、生活の質も落ちてしまいます。

糖尿病は健診で発見されることが多いため、健診結果のHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の値を見て、医療機関または健康課に相談ください。早めに生活習慣を見直すことで進行を予防できます。

▼問い合わせ 健康課 73・3014

少年 育成センター

未成年者の喫煙防止の徹底を

7月に実施した「中学生1日補導員」体験活動の参加者は、次のような感想を記しています。

「小・中・高校生のうちで補導者数が一番多いのが中学生だとわかりました。内容的には、喫煙によるものが一番多いそうです。どうすれば未成年者の喫煙がなくなるのかな」と思いました。

三豊警察署管内の平成23年1月から6月末までの不良行為少年の補導者数は151人で、そのうち50人が喫煙で補導されています。

未成年者喫煙禁止法に次のような条項があります。(要約)

第1条 満20歳未満の者の喫煙を禁止している。

第2条 満20歳未満の者が喫煙のために所持する煙草およびその器具について、行政処分としての没収が行われる。

第3条 未成年者の喫煙を知りつつも制止しなかった親権者や監督者は、刑事罰である科料(一千元以上一万円未満)に処せられる。

第4条 煙草または器具の販売者は満20歳未満の者の喫煙の防止に資するために年齢の確認その他必要な措置を講ずるものとされている。努力義務という規定のされ方である。

第5条 満20歳未満の者が自分自身で喫煙することを知りながらたばこや器具を販売した者は、50万円以下の罰金に処せられる。

第6条 法人の代表者や営業者の代理人、使用人その他の従業者が、法人ないし営業者の業務に関して自分自身で喫煙することを知りながら満20歳未満の者に煙草・器具を販売した場合には、行為者とともに法人ないし営業者を前条と同様に罰する(両罰規定)。

煙草は、非行の始まりともいわれています。家庭・学校・地域が力を合わせ、未成年者の喫煙防止の徹底を図っていききたいものです。

▼問い合わせ 少年育成センター 62・1115

みとよHOT ぽっとNEWS



9/26 トラック協会が交通安全の出前授業

上高瀬小学校で、トラック協会が中心となって交通ルールや事故の危険性などについて出前授業を行いました。実際に大型トラックに乗って視界の確認をしたり、ダミー人形を使った事故の実験など、交通安全について学びました。

9/27 震災対策訓練と協定書調印で災害に備える

大道浄水場で三豊市水道局震災対策訓練が行われ、上勝間の自主防災組織や自治会・勝間小学校・市上下水道工業協同組合などが参加しました。また「災害時における応急措置等の実施に関する協定書」の調印式も行われました。



10/3 プロの技と味を伝授

吉津小学校で講師に木場巳雄シェフを迎えて、学童食育体験活動「キッズ・シェフ」が行われました。木場シェフは「味覚が変わるこの時期に、自分たちが作った料理の味を覚えておいてほしい」と手作りの大切さを伝えました。



みとよHOT ぽっとNEWS



10/7 ねんりんピック出場で市長を表敬

ねんりんピックに香川県代表として出場するゲートボールチーム「みとよ」の選手が、市長を表敬訪問しました。メンバーは「出場する限りは、勝ち上げられるように頑張ります」と力強く抱負を語ってくれました。

平成24年度 幼稚園入園児募集

- 入園対象児** 「3歳児」平成20年4月2日～平成21年4月1日生
「4歳児」平成19年4月2日～平成20年4月1日生
「5歳児」平成18年4月2日～平成19年4月1日生
- 入園の条件** 市内に住所がある幼児
- 受付期間** 11月1日（火）～11日（金）午前8時30分～午後5時（土・日・祝日を除く）
- 預かり保育** 4歳・5歳児で幼稚園の保育時間終了後の時間に、家庭の状況等により保育が困難な家庭の幼児が対象です。希望者は「預かり保育申込書」「就労証明書」等を提出してください。
※豊中幼稚園・大浜幼稚園・箱浦幼稚園は3歳児も対象となります。
- 申し込み** 入園申込書（預かり保育申込書等）を各幼稚園に提出してください。
※申し込み用紙は、各幼稚園または学校教育課にあります。
※入園を継続する園児については、入園申し込みは不要ですが、預かり保育を希望する場合は預かり保育申込書等の提出が必要です。



▶問い合わせ 学校教育課 ☎62-1139

平成24年度 保育所入所児募集

- 入所対象児**
- | 年齢 | 入所時に生後8カ月を経過した子ども |
|-----|----------------------|
| 0歳児 | 平成22年4月2日～平成23年4月1日生 |
| 1歳児 | 平成21年4月2日～平成22年4月1日生 |
| 2歳児 | 平成20年4月2日～平成21年4月1日生 |
| 3歳児 | 平成19年4月2日～平成20年4月1日生 |
| 4歳児 | 平成18年4月2日～平成19年4月1日生 |
- 入所の条件** 市内に住所がある乳幼児で、保護者および同居親族のいずれもが勤務しているなど、家庭で十分保育できないと認められる場合。
- 保育時間** 午前8時30分～午後4時30分（土曜日は12時30分まで）
- 受付期間** 11月1日（火）～15日（火）午前8時30分～午後5時（土・日・祝日を除く）
※年度途中の入所を希望している人も、この期間内にお申し込みください。
ただし、場合により入所できないこともあります。
- 申し込み** 入所申込書を希望する保育所または子育て支援課に提出してください。
※入所申込書等は、各保育所・各支所・子育て支援課にあります。
- 保育所一覧**
- | 保育所名 | 所在地 | 電話番号 | 対象年齢 | 定員 |
|---------|---------------|---------|-------|------|
| 高瀬中央保育所 | 高瀬町新名797-1 | 72-5986 | 0歳～5歳 | 120人 |
| 高瀬南部保育所 | 高瀬町下麻653-2 | 74-6232 | 0歳～3歳 | 45人 |
| 山本保育所 | 山本町財田西525-1 | 63-3019 | 0歳～5歳 | 90人 |
| 三野保育所 | 三野町大見甲3841-1 | 72-5343 | 0歳～5歳 | 90人 |
| 豊中保育所 | 豊中町本山甲2256-1 | 62-2010 | 0歳～2歳 | 120人 |
| 松崎保育所 | 詫間町松崎2780-445 | 83-2115 | 0歳～5歳 | 90人 |
| 詫間保育所 | 詫間町詫間2024-2 | 83-2143 | 0歳～5歳 | 120人 |
| 須田保育所 | 詫間町詫間5798 | 83-3037 | 1歳～5歳 | 70人 |
| 仁尾保育所 | 仁尾町仁尾丁636-1 | 82-3292 | 0歳～5歳 | 90人 |
| 財田保育所 | 財田町財田上1417 | 67-2160 | 0歳～3歳 | 45人 |

▶問い合わせ 子育て支援課 ☎73-3016

人権擁護委員に委嘱されました

平成23年10月1日付けで、次の方が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。（敬称略）

篠原 昌宏（高瀬町 再任）
詫間 定男（高瀬町 新任）
木下 実（仁尾町 新任）

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

平成24年三豊市成人式

日時 平成24年1月8日（日）
午後2時開式（受付午後1時30分～）

場所 マリンウェーブ

対象 平成3年4月2日～平成4年4月1日に生まれた人



市内に住所がある新成人には、11月中旬に案内ハガキを送付します。

市外在住の新成人は、生涯学習課までご連絡ください。案内はがきを送付します。

▼問い合わせ 生涯学習課 ☎62・1113

青少年健全育成事業表彰式・上映会

日時 12月4日（日）
午後1時30分～3時45分

場所 市民交流センター（豊中町）

対象 市内在住の人

内容 健全育成作品表彰式
「玄牝（げんぴん）」上映会

参加料 無料

※事前申し込みが必要です。



▲河瀬直美監督作品
生命誕生の奇跡、すばらしさを描いたドキュメンタリー映画です

▼申し込み・問い合わせ
三豊市青少年健全育成市民会議事務局 ☎62・1115

11月は児童虐待防止推進月間

守るのは気づいたあなたのその勇気

虐待を受けている子どもたちは、SOSサインを出しています。

虐待を受けたと思われる子どもがいたら、すぐに連絡（通告）・相談してください。連絡（通告）した人の秘密は守ります。

三豊市相談ダイヤル ☎73・3665

（平日午前8時30分～午後5時15分受付）

西部子ども相談センター ☎0877（24）3173

（平日午前8時30分～午後5時15分受付）

※緊急の場合は、時間外や土・日・祝日も受付

全国共通ダイヤル ☎0570（064）000

お住まいの地域の児童相談所に電話をつなぎます。24時間つながります。

※PHSや一部のIP電話からはつながりません。

▼問い合わせ 子育て支援課 ☎73・3016

里親（ドレミファミリー）になりませんか

家庭のさまざまな事情で保護者と一緒に暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、保護者にかわって健康やかに養育してくださる里親を求めています。

（ドレミファミリーは、香川県での養育里親の愛称）
ファミリー募集

県では、児童福祉施設に入所している児童に、週末などに短期間、家庭生活を体験してもらう「週末ホームステイ事業」を実施しています。その家庭（ファミリー）も募集しています。

▼問い合わせ

県子ども女性相談センター ☎087（862）8861
県西部子ども相談センター ☎0877（24）3173

子どもと家庭の電話相談

子どもに関する悩み、心配ごとの電話相談室です。例えば、しつけで困っている、友だちができていない、学校へ行きたがらないなど、子どものことなら何でもご相談ください。ひとりで悩まず、話し合いながら一緒に考えましょう。

専任の相談員が相談を受け、秘密は厳守します。

相談ダイヤル ☎087（862）4152

（月～土曜日 午前9時～午後9時受付）

※日曜・祝日・年末年始は休み

▼問い合わせ

県子ども女性相談センター ☎087（862）8861

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されます

～ 年末調整・確定申告まで大切に保管を ～

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。

この社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成23年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人については「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が10月下旬から11月上旬までに日本年金機構から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。

また、10月1日から12月31日までに今年はじめて国民年金保険料を納付した人については、来年の1月下旬に送付されます。

なお、家族の国民年金保険料を納付した場合も、納付した本人の社会保険料控除の申告に加えることができますので、家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についての照会は、控除証明書のはがきに表示されている年金事務所へお問い合わせください。

控除証明書
専用ダイヤル

☎0570-070-117

☎03-6700-1130 (IP電話用)

※電話料金は一般の固定電話の場合、市内通話料金でご利用できます。
ただし、携帯電話・IP電話の場合は全額負担となります。

受付	11月1日（火）～平成24年3月15日（木）（日・祝日・12月29日～1月3日は除く） 月曜日（休日の場合は火曜日）8:30～19:00 火曜日～金曜日 8:30～17:15 第2土曜日 9:30～16:00
----	---

年金受給者の皆さんへ 「扶養親族等申告書」は期限までに提出しましょう！

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。（障害年金・遺族年金は除く）課税対象となる受給者には、11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日までに必ず提出してください。

この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税の源泉徴収税額が決まります。もし提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収税額が多くなる場合がありますのでご注意ください。

なお、年金以外に収入がある人は確定申告が必要です。

平成24年分「扶養親族等申告書」が送付される人		
年 齢	65歳未満	年金額が108万円以上
	65歳以上	年金額が158万円以上

国民年金保険料を納めましょう

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。

平成23年度の国民年金保険料額は、1カ月15,020円です。納めた国民年金保険料は「社会保険料控除」として全額控除の対象となり、税金の負担が軽減されます。

まだ納付がお済みでない人は、至急お近くの金融機関またはコンビニエンスストア等で納付してください。

保険料についてご不明な点がありましたら、善通寺年金事務所にお尋ねください。

▶お問い合わせ 市民課 ☎73-3005 善通寺年金事務所 ☎0877-62-1660

11月は「ねんきん月間」です

【年金出張相談】

●日時

11月17日（木）・18日（金）午前10時～午後4時

●場所

イオン綾川ショッピングセンター

●内容

国民年金保険料の口座振替や国民年金保険料を納めることが困難な人への免除申請などの手続き、配偶者加給年金と振替加算など、年金に関することなら何でも相談できます。

※この機会にご自身の年金を確認してみてください。
また、公的年金制度の趣旨やしきみについてもご理解ください。

▼問い合わせ

善通寺年金事務所 ☎0877（62）1661

年末調整説明会の開催

●日時

11月28日（月）
午前10時～正午・午後2時～4時

●場所

高瀬町農村環境改善センター

※年末調整関係書類を事前にお送りしますので、ご来場の際には必ずお持ちください。
日程については、事前にお送りする封筒の裏面でご確認ください。

▼問い合わせ 観音寺税務署 ☎25・2191

e-Tax（電子申告）講習会

●日時

12月14日（水）
午前10時～11時30分・午後1時30分～3時

●場所

観音寺税務署

●内容

国税庁ホームページを利用して、自宅から電子申告を行うための手順

●申し込み期限

11月30日（水）

※住基カード（電子証明書）を持参される人は、初期登録をサポートします。

▼申し込み・問い合わせ

観音寺税務署 ☎25・2193

所得税の予定納税（第2期分）の 納付をお忘れなく！

予定納税が必要な人には、6月中旬に税務署から「予定納税額の通知書」が送付されています。

●納付期間

11月1日（火）～30日（水）

▼問い合わせ 観音寺税務署 ☎25・2191

お済みですか？消費税の届け出！

個人事業者で、新たに課税事業者（消費税の申告・納付が必要な人）となる場合には、納税地の所轄税務署長に「消費税課税事業者届出書」の提出が必要です。

なお、平成24年分から簡易課税制度を適用して申告する人は、12月31日（土）までに「消費税簡易課税制度選択届出書」を納税地の所轄税務署長に提出する必要があります。

▼問い合わせ

観音寺税務署 ☎25・2191

目指せ男女共同参画社会

No.22

11月12日～25日は

「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

平成21年度に香川県が実施した意識調査によると、女性の11.1％は、これまでに配偶者から「身体的暴行」「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことが「何度もあった」と答えています。

配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されるものではありません。この運動期間をきっかけに、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりを進めましょう。

ひとりで悩まず、ご相談ください

【相談先】

○香川県子ども女性相談センター
（配偶者暴力相談支援センター）
☎087（835）3211

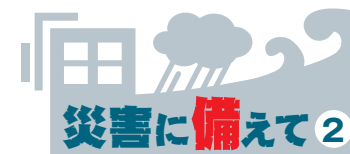
○三豊市女性相談・児童家庭相談（子育て支援課内）
☎73・3665

○香川県警察総合相談センター
☎9110（全国共通短縮ダイヤル）
☎087（831）0110

○かがわ男女共同参画相談プラザ
☎087（832）3198

▼問い合わせ 政策課 ☎73・3010





いざという時のために

非常持ち出し品の準備

もし災害によってライフラインが途絶えたり避難が必要になっても困らないように、非常用の備えを日頃から準備しておきましょう。

	非常持ち出し品	
	水	1日に必要な飲料水は1人あたり約3リットル
	食料	パックご飯やインスタント食品、缶詰など保存期間が長く、すぐに食べられるようなもの
	医薬品	消毒薬やバンソウコウ、はさみなど
	生活用品	衣類、雨具、使い捨てカイロ 冬場には暖を取る毛布や防寒具など
	その他	携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池、身分証明書のコピー ウエットティッシュ、食器に敷いて使えるラップなど
乳幼児がいる場合		紙おむつ、粉ミルク、哺乳ビン、玩具など

※水、食料は一般的に3日分が理想とされています。
※メガネやコンタクトレンズを必要とする人は、災害時に普段使用しているメガネなどが壊れることも想定し、予備を準備しておくことをおすすめします。

家具の配置確認

家具が倒れてドアをふさいだり、下敷きにならないように転倒防止グッズなどで固定しましょう。

家族間の連絡方法の確認

外出中の災害を想定し、連絡の取り方を決めておきましょう。

▶問い合わせ 総務課 ☎73-3000

詫間港・仁尾港の臨港地区を見直します

都市計画法第9条第22項に基づき、港湾の管理運営を円滑に行うため、詫間港と仁尾港の臨港地区を見直します。主な内容は、一部港湾施設の編入です。

●素案の閲覧

日時 11月2日(水)～16日(水)
(土・日・祝日は除く)

午前8時30分～午後5時15分

場所 建設課

●公述の申し出

申し出期間と手続き

公聴会に出席して意見を述べたい人は、素案の閲覧場所にある公述申出書を提出してください。

日時 11月2日(水)～16日(水)
(土・日・祝日は除く)

午前8時30分～午後5時15分

提出先 建設課

●公述人の選定

申出人が多数の場合や同じ趣旨の意見が多くあった場合は、公述時間を区切ったり、公述人を選定することがあります。公述人に選ばれた場合は、ご本人へ通知します。

●公聴会について

公聴会の開催

市民の皆さんや利害関係者の意見を見直しに反映させるため、公聴会を開きます。ただし、公述の申し出がなかった場合は、公聴会はいりません。

日時 11月28日(月)
午後2時～

場所 高瀬町農村環境改善センター

公聴会の傍聴

公聴会を傍聴したい人は、直接会場へお越しください。なお、傍聴人は発言することができません。また、満席の場合は傍聴をお断りすることがあります。

▼問い合わせ

建設課 ☎73・3043



申請期限せまる!! 住宅耐震対策補助金

住宅の耐震診断や耐震改修工事に対する補助金申請期限は12月20日(火)です。

なお、申請前に要件の確認や手続き方法の説明のために、申込書を提出していただきますので、お早めにご相談ください。

●対象

申請者の要件

- ・補助対象住宅の所有者であること
- ・市税を滞納していないこと

住宅の要件

- ・昭和56年5月31日以前に着工された戸建住宅、長屋、併用住宅(住宅の用に供する部分が過半数以上のものに限る)
- ※賃貸住宅、社宅は除く

- ・市内において自ら所有し居住する住宅であり、耐震対策後も居住の場として利用されること
- ・耐震改修工事については、耐震診断により倒壊する可能性が高いまたは倒壊する可能性があると考えたもの
- ・建築基準法の規定に基づく違反がないこと
- ・同一事業の補助を受けていないこと

●補助内容

耐震診断

- ・補助率 当該診断に要した費用の3分の2
- ・補助金額 上限6万円(千円単位切り捨て)

耐震改修工事

- ・補助率 当該工事に要した費用の2分の1
- ・補助金額 上限60万円(千円単位切り捨て)
- 23年度募集と申し込み状況

区分	耐震診断	耐震改修工事
募集件数	50件	5件
申込件数	13件	3件

(※10月17日現在)

- 申請期限 12月20日(火)

▼問い合わせ 建築課 ☎73・3044

栗島芸術家村招へい芸術家

オープンアトリエ、ワークショップ

森田洋美さんのオープンアトリエ

日時 11月12日(土)、13日(日) 午前10時～午後5時

場所 栗島中学校

人間と自然との関係性をテーマに絵画を制作しています。お気軽にお越しください。



岩岡純子さんのワークショップ

『てんごくとしごくを描いてみよう』

参加者募集

それぞれが思うしあわせな時間や嫌な時間を絵に描いてみよう。自分でも知らない自分が見えてくるかも。ペンや色えんぴつ、絵の具などを使って描くワークショップです。

日時 11月5日(土) 午前9時30分～12時30分

場所 栗島中学校

対象 小学4年生以上 15人 参加料 500円

森田洋美さんのワークショップ

『身近な自然を描いてみよう』

参加者募集

植物、貝殻、虫など、手のひらサイズの自然をじっくり観察して、描いてみよう。パネルにジェッソを塗ったものに鉛筆で描きます。

日時 11月6日(日) 午前9時30分～12時30分

場所 栗島中学校

対象 中学生以上 20人

参加料 500円

▶申し込み・問い合わせ 地域振興課 ☎73-3013



国際理解講座

青空キムチ作り教室

参加者募集

韓国では、寒くなるこの季節に家族みんなでキムチを漬けます。韓国出身のチェさんと一緒に本場のキムチ作りに挑戦してみませんか。

日 時	12月3日(土) 午前10時～午後1時	準備物	エプロン、持ち帰り容器 ※外での作業もありますので、 温度調節が可能な服装でご参加下さい。
場 所	豊中町保健センター		
講 師	チェ・ヨンジン		
定 員	50人(先着順)	申し込み期限	11月30日(水)
参加料	一般 700円 会員 500円		



世界に羽ばたく人材育成

ちびっこ中国語体験教室

参加者募集

日本でも国際的な視野をもち、中国語が話せる人材が求められています。子ども達の将来のために、国際理解・中国語学習を体験してみませんか。



日 時	11月20日(日) 午前10時～正午
場 所	マリンウェーブ
講 師	楊 笛(中国出身)
対 象	小学生
定 員	50人(先着順)
参加料	子ども1人 300円
内 容	①中国語会話の基礎学習 ②中国の文化および小学生の生活について紹介 ③中国の伝統的な遊びを体験
申し込み期限	11月17日(木)

▶申し込み・問い合わせ(財)三豊市国際交流協会 ☎56-5121(火曜・祝日休館) <http://www.mitoyo.org/>

みとよ獅子舞フェスティバル2011

マリンウェーブ 11月6日(日) 正午～

市内の16の獅子舞がマリンウェーブに集結。各地域の獅子舞が特色ある演舞を披露します。



▶問い合わせ 三豊市観光協会 ☎56-9121

大 坊 市

本門寺境内 (JRみの駅から徒歩3分) 11月22日(火)～25日(金) 午前9時ごろ～午後7時ごろ

22日(火)～25日(金)

10:00～16:00 三野町名産品テント村(本門寺境内)

23日(水/祝)

9:00～17:00 囲碁大会(三野町社会福祉センター)

①10:30～ } バルーンショー(本門寺境内)

②13:30～ }

10:00～ この本もったいない市(本門寺境内)

※本が無くなりしだい終了します

雨天の場合は三野町文化センター

13:00～15:30 讃岐源之丞公演(インパルみの)

▶問い合わせ 三野町イベント推進協議会

大坊市実行委員会 ☎73-3111

旬の味を楽しむ

フルーツ王国 簡単レシピ

学校給食からおすすめメニュー⑥

今が旬の三豊産の野菜や果物を使った料理のレシピを紹介しています。



材料(4人分)

小松菜	300g
しめじ	20g
ちりめんじゃこ	16g
サラダ油	適量
こいくちしょうゆ	小さじ1/2
みりん	小さじ1弱

私を軽く茹でると、シャキシャキしておいしいよ!



コマツナーゼ



作り方

- ① 小松菜を軽くゆで、水ですばやく冷やして3cmの長さに切る。
- ② ちりめんじゃこは、フライパンで焦がさないように、からいりして取り出す。
- ③ フライパンを油で熱し、しめじを入れ軽く炒め、小松菜を加えてさらに炒める。
- ④ ③に②とみりんを加え、しょうゆで味をととのえる。
- ⑤ 器に盛付けてできあがり。



小松菜のじゃこ炒め

▶問い合わせ 農業振興課 ☎73-3040

美味しいは地産地消から ⑩ 香川県産ぶどうを学校給食に!

香川県産のぶどうは明治34年に高松市で栽培されたのが始まりで、昭和30年ごろ栽培面積が増加しました。

ぶどうは果物の中でも糖度の高い果物ですが、味は日照時間に比例しており、日照時間が長い香川県では、特においしいぶどうが生産されています。

「ピオーネ」は、紫黒色で甘みが強くさわやかな酸味があり、ボリュームたっぷりの品種で、果汁も多く濃厚です。「翠峰」は、鮮やかな黄緑色で味覚はさわやかで喉に残る酸味も少ないため非常に食べやすく、皮ごと食べることも可能です。「ロザリオビアンコ」は、黄緑色の楕円形で、まろやかな甘さがあり、ジューシーで水分が多い大粒のぶどうです。

9月には市内のほとんどの学校で、県内産のぶどうが給食に使用されました。粒が大きくて甘みが強く、品質も大変よいとのことで、栄養教諭や調理員からは高い評価を得ました。また、児童・生徒の皆さんからも、「おいしかったよ」と好評でした。これからも、さまざまな地場産物を積極的に提供していきたいと思います。機会がありましたら、ぜひ、香川県産ぶどうを食べ比べてみてください。



▲左から ピオーネ、翠峰、ロザリオビアンコ

▶問い合わせ 学校給食課 ☎62-1114



お知らせ

三豊市メール配信
サービス実施中
登録はこちら↓



▲ 弥谷寺の紅葉

募集

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

- 応募資格
中学卒（見込み含む） 17歳未満
- 申し込み期限
平成24年1月6日（金）
- 申し込み・問い合わせ
自衛隊観音寺地域事務所
☎ 25・6122

相談

弁護士の多重債務者無料相談会

- 日時
11月22日（火）
午後1時～3時
- 場所
仁尾町老人福祉センター
- 相談
1人30分
4人まで（要予約）
申し込み期間

- 11月8日（火）～15日（火）
- 申し込み・問い合わせ
福祉課
☎ 73・3015

若者自立支援相談 （さめぎ若者サポート ステーションの出張相談）

- 日時
11月24日（木）
午前9時30分～午後5時
- 場所
豊中町保健センター
- 相談内容
就職支援相談
キャリアカウンセリング
- 対象
15歳からおおむね39歳までの人
またはその家族
- 問い合わせ
商工観光課
☎ 73・3042
- 精神保健相談
■ 日時

- 【中高年うつ・認知症相談（要予約）】
11月7日（月）・12月5日（月）
午前11時～正午
- 【思春期相談（要予約）】
11月14日（月）
午後2時～4時
- 【心の健康相談（要予約）】
11月30日（水）
午後2時～4時
- 場所
西讃保健福祉事務所
- 申し込み・問い合わせ
西讃保健福祉事務所
☎ 25・2052

ひきこもり親の集い

- 日時
11月9日（水）
午後1時30分～3時30分
- 場所
西讃保健福祉事務所
- テーマ
「医療面からひきこもりを考える」
当事者家族同士のフリートーク
- 対象
ひきこもりで悩んでいる家族
- 申し込み・問い合わせ
西讃保健福祉事務所
☎ 25・2052
- じん肺・石綿（アスベスト）健康相談会
■ 日時
11月5日（土）
午前9時～正午

場所

マリンウェーブ

対象

粉じん職場・建設・造船・建材・
保温材の製造等で働いた人
※振動病の相談も行います

問い合わせ

建交労香川労災支部・香川民医連
☎ 087（886）1962

国・地方総合行政相談所

- 日時
11月18日（金）
午前10時30分～午後3時30分
- 場所
高瀬町農村環境改善センター
- 相談内容
相続・登記・税金・年金など
- 相談員
国・県・市の職員および
弁護士・税理士等の専門家
- 問い合わせ
四国行政評価支局
☎ 087（831）3103

講座・教室

三豊総合病院11月の健康教室

- 【食べて治してハッピーライフ】
（テーマ）メタボ予防3
- 日時
11月11日（金）健康講座
午後2時～3時30分
11月25日（金）調理実習

午前10時～正午

【腎臓病教室】

- 日時
11月17日（木）
午後3時30分～5時
- 夜間糖尿病教室
- 日時
11月10日（木）
午後6時～7時30分

※各教室とも事前予約が必要です。
※調理実習は実費600円が必要
■ 申し込み・問い合わせ
三豊総合病院健康管理センター
☎ 52・2726

生涯学習講座 「クリスマス用 寄せ植え教室」

- 日時
11月27日（日）
午前9時30分～11時
- 場所
山本町生涯学習センター
- 定員
20人
- 参加料
2,000円
- 準備物
ゴム手袋・持ち帰り用の箱
8号鉢がある人は持参ください
（参加料を値引きします）
- 申し込み・問い合わせ
山本町公民館
☎ 63・1041



第4回園芸講習会 「クリスマス寄せ植え実習」

- 日時
11月20日（日）
午前9時30分～正午または
午後1時30分～4時
- 場所
坂出市番の州公園
- 定員
各15人
- 参加料
3,500円（材料代）
- 申し込み方法
郵便・FAX・メールのいずれ
かで、希望時間・住所・氏名・
年齢・性別・電話番号等記入
- 申し込み期限
11月14日（月）
- 申し込み・問い合わせ
坂出緩衝緑地 管理事務所
坂出市番の州公園5番地
☎ 0877（45）6820
FAX 0877（43）5213
kansyouyokuti@hythm.ocn.ne.jp

その他

「有害ごみ」「金属ごみ」の回収

- 収集日
11月30日（水）
- 収集場所
各自自治会（みステーション
品目

税務課からのお知らせ

11月は
国民健康保険税（普通徴収）（第5期分）
介護保険料（普通徴収）（ 〃 ）
後期高齢者医療保険料（普通徴収）（ 〃 ）
の納付月です。

口座振替日 および 納期限

11月30日（水）

☆納期限内に納めましょう。
☆市税等の納付は便利な口座振替をご利用ください。

▶ 問い合わせ 税務課 ☎ 73-3006

要予約

駅からウォーク

～紅葉の財田路満喫ウォーク～

- 日時
12月3日（土） 午前9時40分集合
- 集合場所
J R 讃岐財田駅
- コース
歩行距離 約15.2km
J R 讃岐財田駅→アンファーム→釈迦堂→
品福寺→運動公園→蜜蔵寺→鮎返りの滝→
たからだの里→宝光寺→J R 讃岐財田駅
（16:20頃解散）
- 参加料
800円（保険料含む）
※昼食は各自でご持参ください。
- 申し込み期限
12月1日（木）
- ▶ 申し込み・問い合わせ 三豊市観光協会 ☎ 56-9121

三豊の魅力さがし写真コンテスト （秋・冬の部）

作品募集

三豊の観光PRにもってこいの写真を募集します

- テーマ
世界に発信 三豊の魅力
海よし山よし味よしとよしをイメージできるもの
・秋冬のおすすめ美景スポット
（海・山・田園・日の出・夕日・島・花など）
・秋冬イベントの情景
・歴史ある名所・旧跡
- 賞金
最優秀賞 1人 30,000円
優秀賞 4人 5,000円
佳作 10人 三豊市商品券1,000円分
- 応募期限
平成24年2月24日（金）
- ▶ 応募・問い合わせ 三豊市観光協会 ☎ 56-9121

【有害ごみ】乾電池、蛍光灯・電球、水銀体温計・水銀温度計、使い捨てライター

【金属ごみ】やかん、鍋、フライパン、傘の骨等の家庭用金属製品（おおむね金属製のもの）

出し方

品目ごとに分けて出してください。（50㎝以上のものは「粗大ごみ」になります。傘は骨以外のビニールや布は取り除いてください）

問い合わせ

環境衛生課 ☎73・3007

プレミアム付商品券 販売

発行券

1冊1万円（1,000円券10枚と500円券1枚）1冊につき500円お得

発行冊数

1万冊

販売期間・場所

11月5日（土）・6日（日）

午前9時～午後3時

三豊市商工会各事務所

7日（月）からは商工会通常営業日の販売

※各販売窓口は、売り切れしだい締め切ります。

使用期間

発効日から1年

購入限度

1回の購入につき1人10冊（10万円）まで

Wチャンス

1冊お買い上げごとに1回、賞品総額約百万円のスピードくじに参加できます。

問い合わせ

三豊市商工会高瀬支所

☎72・5729

茶道教室「ふれあい茶会」

立礼式のお茶会です

日時

11月19日（土）

午前9時30分～11時30分

場所

山本町生涯学習センター

対象

小学生以下の子どもと保護者

定員

30人

申し込み・問い合わせ

山本町公民館

☎63・1041

三豊市文化協会文化祭

【作品展覧会】

日時

11月26日（土）・27日（日）

（26日）午前9時～午後5時
（27日）午前9時～午後3時

場所

三野町体育センター（下高瀬小学校隣）

日時

12月4日（日）

午前10時～午後3時30分

場所

マリノウェーブ

問い合わせ

三豊市文化協会

☎56・6251

「Enjoy Brass in みとよ」吹奏楽演奏会

市内の吹奏楽団体が一緒に演奏会を開催します。各団体のステージと参加者全員による合同演奏があります。

日時

11月13日（日）

午後1時30分～4時

場所

マリノウェーブ

出演

詫間・仁尾・豊中・高瀬の各中学校吹奏楽部および高瀬高校・笠田高校吹奏楽部など

問い合わせ

高瀬中学校

☎72・3161

古本リサイクル市

家庭からお持ちいただいたリサイクル図書や仁尾町図書館で不要となった雑誌を、無料で提供します。

日時

11月5日（土）

午前10時～午後4時

場所

仁尾町文化会館

問い合わせ

仁尾町図書館 ☎56・9565

図書館 臨時休館のお知らせ

【高瀬町図書館】

11月4日（金）～13日（日）

【財田町公民館図書室】

11月15日（火）～24日（木）

【三野町図書館】

11月22日（火）～12月2日（金）

問い合わせ

高瀬町図書館 ☎72・5631

財田町公民館図書室 ☎67・0108

三野町図書館 ☎73・3121

陸上自衛隊記念行事

日時

11月6日（日）

午前10時～午後2時

場所

陸上自衛隊善通寺駐屯地

内容

観閲式、音楽演奏、装備品展示、災害派遣等活動写真展

※JR善通寺駅よりシャトルバスが運行されます。

問い合わせ

第14旅団広報班

☎0877（62）2311

全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間

期間

11月6日（日）～13日（日）

午前10時～午後3時

場所

坂出市番の州公園

内容

どんぐりや松実等の小物展示

【作り方教室】

日時

11月6日（日）・13日（日）

午前の部 午前10時30分～
午後の部 午後1時30分～

対象

小学3年生以上

定員

各10人（先着順）

申し込み方法

郵便・FAX・メールの何れかで

申し込み・問い合わせ

坂出緩衝緑地 管理事務所

坂出市番の州公園5番地

☎0877（45）6820

FAX 0877（43）5213

kansyoutokuti@hythm.ocn.ne.jp

第30回大王製紙エリエールレディスオープン開催に伴うお知らせ

11月17日（木）～20日（日）の大会期間中、エリエールゴルフクラブ周辺では、交通渋滞が予想されます。臨時駐車場など、詳しくは大会のホームページで確認ください。

問い合わせ

http://www.elleair.jp/golf/

政策課 ☎73・3010

マリンウェーブ情報

▶マリンウェーブ ☎56-5111

ONE COIN LOBBY CONCERT

山本なつき ボサノヴァワールド

日時 11月25日（金）午後7時開演

料金 一般500円 学生100円
当日、ロビーにて

出演 フェリアード
（ヴォーカル・ギター：山本なつき
ピアノ・パーカッション：小山寛治）

いっこく堂 栗田けんじ ヴォイス・イリュージョン

日時 1月22日（日）午後2時開演

料金 【全席指定席】S席4,500円
A席3,500円

先行発売 11月20日（日）10:00～
（1人10枚まで）

出演 いっこく堂 栗田けんじ

心温まる贈りもの （9月受付分）

このたび、次の皆さまより善意のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。（敬称略・受付順）

社会福祉協議会へ

藤川 節	財田町	関 恭 幸	三野町
大井 昌 乃	高瀬町	坂 田 正 勝	仁尾町
樋 笠 求	高瀬町	金 崎 恒 夫	三野町
酒 井 久 夫	豊中町		

昭和17年3月財田上国民学校卒業生 財田町

三豊市へ

石 田 武 司	豊中町	山 口 眞 智 子	詫間町
---------	-----	-----------	-----

三豊市の人口 平成23年10月1日現在（ ）内は前月比

世帯数	22,874	世帯（+7）	総人口	67,882 人（-47）
-----	--------	--------	-----	---------------

※香川県人口移動調査による

みとよデータボックス

1.9

今月の数字は、1.9。これは昨年、三豊市内で発生した交通事故の件数の、1日当たりの平均値です。

広い三豊市ではありますが、その中で1日に約2件も交通事故が起こっているということになります。

この数字が少しでもゼロに近づくように、市民の皆さんくれぐれも安全運転をお願いいたします。

▶問い合わせ 政策課 ☎73-3010

消防だより

平成23年秋季全国火災予防運動 11月9日（水）～15日（火）

平成23年度全国統一防火標語

「消したはず 決めつけしないで もう一度」

空気が乾燥した状態が続く季節です。特に秋から冬にかけては暖房器具やたき火など、いろいろな所で火気を使う機会が多くなり、火災が発生しやすい季節となります。

1人ひとりが火災予防の知識を持ち、それを実践することで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、死傷事故や財産の損失を防ぐことができます。

▶ 問い合わせ 三観広域北消防署 ☎72-2119

職業相談 上高野文化センター ☎62-2377

日 程	時 間	場 所
14日(月)	10:00～11:30	上高野文化センター

就農相談 担い手育成総合支援協議会事務局 ☎62-3075

対象は、新規就農予定者・就農5年以内の農業者（要予約）

日 程	時 間	場 所
22日(火)	13:00～16:00	西讃農業改良普及センター
24日(木)		
25日(金)		

知的財産・技術相談会 商工観光課 ☎73-3042

登録商標や企業・技術紹介の相談（要予約）

日 程	時 間	場 所
8日(火)	9:30～15:00	豊中町保健センター

休日当番医

日 程	医療機関名	市町名	電話番号
3日(木)	小野医院	詫間町	83-8181
	クリニック池田	観音寺市	23-1500
6日(日)	みやしたファミリークリニック	高瀬町	73-4976
	河田病院	観音寺市	25-3668
13日(日)	永康病院	詫間町	83-3001
	おざきこどもクリニック	観音寺市	24-6789
20日(日)	石井医院	高瀬町	73-6100
	大西病院	観音寺市	25-3291
23日(水)	多田医院	詫間町	83-2121
	業天医院	観音寺市	52-3636
27日(日)	西香川病院	高瀬町	72-5121
	久保外科整形外科医院	観音寺市	25-5515
12月4日(日)	しのはら医院	山本町	56-7222
	かもだ内科クリニック	観音寺市	23-4976

休日当番医 歯科

日 程	医療機関名	市町名	電話番号
6日(日)	野口歯科医院	観音寺市	25-3900
13日(日)	おおした歯科医院	詫間町	83-7106
20日(日)	塩田歯科医院	観音寺市	25-3872
27日(日)	篠丸歯科医院	高瀬町	72-3788
12月4日(日)	まきの歯科医院	観音寺市	23-2848

※休日当番医は、都合により変更になることがあります。

行政相談 総務課 ☎73-3000または各支所

日 程	時 間	場 所
2日(水)	10:00～15:00	豊中町保健センター
	13:00～15:00	三野町社会福祉センター
7日(月)	13:15～16:00	財田庁舎
8日(火)	13:00～16:00	詫間福祉センター
14日(月)	10:00～15:00	高瀬町農村環境改善センター
	13:00～15:00	山本庁舎
15日(火)	10:00～15:00	仁尾庁舎

人権相談 人権課 ☎73-3008または各支所

日 程	時 間	場 所
2日(水)	10:00～15:00	豊中町保健センター
9日(水)		詫間福祉センター
14日(月)		高瀬町農村環境改善センター
16日(水)		三野町社会福祉センター
21日(月)		仁尾庁舎

農事相談 農業委員会 ☎73-3046

日 程	時 間	場 所
1日(火)	13:30～16:00	高瀬町農村環境改善センター
2日(水)		山本庁舎
4日(金)		豊中庁舎
10日(木)		三野庁舎

健康相談 健康課 ☎73-3014

血圧測定・尿検査・健診結果や生活習慣病予防等の相談

日 程	時 間	場 所
9日(水)	9:30～11:00	山本町保健センター
10日(木)		詫間福祉センター
11日(金)		豊中町保健センター
15日(火)		仁尾町福祉会館
16日(水)		高瀬町公民館
17日(木)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
21日(月)		三野町保健センター

こころの健康相談 福祉課 ☎73-3015

日 程	時 間	場 所
4日(金)	10:00～11:30	山本町老人ふれあいプラザ
28日(月)	13:00～15:00	高瀬町農村環境改善センター
12月2日(金)	10:00～11:30	詫間福祉センター

乳幼児健診 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
4・10カ月児健診 (平成23年7月生まれ) (平成23年1月生まれ)	15日(火)	13:30～13:50	豊中
	22日(火)		三野
1歳6カ月児健診 (平成22年4月生まれ)	9日(水)		豊中
	10日(木)		三野
3歳児健診 (平成20年4月生まれ)	17日(木)		三野
	24日(木)		豊中

※乳幼児健診は子どもの成長・発達を知る節目の時期に実施しています。ぜひ、この機会に受けましょう。

パパママ教室 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
16週以降の妊婦と夫 (希望者は14日(月)～25日(金) までに電話でお申し込みください)	27日(日)	9:15～9:30	三野

ツインズの会 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	時 間	※場所
双子・三つ子を妊娠、育児中の人 (希望者は21日(月)までに 電話でお申し込みください)	28日(月)	13:30～15:30	豊中 センター

ベビーマッサージ教室 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	受付時間	※場所
2～6カ月の乳児と保護者 (希望者は11月30日(水)～12月13日 (火)までに電話でお申し込みください)	12月 14日(水)	9:40～10:00	豊中

楽しい歯磨き教室 子育て支援課 ☎73-3016

対 象	日 程	時 間	※場所
10カ月～3歳(市内在住)の 子どもと保護者 ※申込不要	12月 5日(月)	10:00～	高瀬

*持参物 歯ブラシ、コップ

児童相談 子育て支援課 ☎73-3016

日 程	時 間	※場 所
22日(火)	13:30～15:00	豊中

◎県の専門員が相談に応じます。
◎希望者は前日までに電話でお申し込みください。
※場所 豊中…豊中町保健センター
三野…三野町保健センター
豊中センター…豊中地域子育て支援センター
高瀬…高瀬地域子育て支援センター

遊ビリテーション 地域包括支援センター ☎73-3017

日 程	時 間	場 所
8日(火)	10:00～11:30	仁尾町文化会館
10日(木)	10:00～11:30	山本町保健センター
	13:30～15:00	財田町国保高齢者保健福祉支援センター
14日(月)	10:00～11:30	市民交流センター
	13:30～15:00	高瀬町農村環境改善センター
16日(水)	10:00～11:30	マリノウェーブ
	13:30～15:00	荘内自然休養村センター
18日(金)	10:00～11:30	三野町保健センター
22日(火)	10:00～11:30	二ノ宮地区農業構造改善センター

脳きらり教室 地域包括支援センター ☎73-3017

日 程	時 間	場 所
8日(火)	13:30～15:00	高瀬町農村環境改善センター
9日(水)		マリノウェーブ
15日(火)		市民交流センター
16日(水)		三野町保健センター
18日(金)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
22日(火)		仁尾町文化会館
25日(金)		山本町保健センター

高齢者あんしん相談 地域包括支援センター ☎73-3017

認知症や介護に関すること、成年後見制度や高齢者虐待などの相談

日 程	時 間	場 所
7日(月)	10:00～11:00	仁尾庁舎
8日(火)		財田町国保高齢者保健福祉支援センター
10日(木)		三豊市役所
11日(金)		三野町保健センター
16日(水)		豊中庁舎
17日(木)		山本町保健センター
30日(水)		詫間福祉センター

精神デイケア 福祉課 ☎73-3015

日 程	時 間	場 所
10日(木)	10:00～11:30	高瀬町公民館（さくらの会）
17日(木)		
15日(火)	13:30～15:30	詫間福祉センター(みつより会)

詫間保育所 たくま港まつりの経験から遊びへ



▲おいしい焼き鳥はいかがですか？



みんなの みとよ



曾保小学校 上級生と下級生で力を合わせて



▲集団演技のすばらしさにみんな感動

輝く海とみかん畑、自然に恵まれた曾保小学校。全校生37人は、明るく元気でがんばりやです。子どもたちは、朝の自主運動として一年中を通して、「輪車やマラソン、なわとびに励んでいます。」

一輪車では「曾保小一輪車検定」をもとに、さまざまな技に挑戦しています。秋の運動会では、全校生で一輪車の集団演技を披露し、地域の皆さんから「感動した」と絶賛されました。

夏には、全校生が特別水泳練習に参加して真っ黒になって泳ぎ、自分の目標を達成します。

少人数なので、全校生で取り組む活動が多く、遠足・運動会・水泳大会などの行事でも縦割りの色別チームで力を合わせます。その中で、上級生が下級生をいたわり、下級生が上級生を慕うという心が育っています。みんな学校が大好きです。

文化財を訪ねて 23



▲下高瀬簡易郵便局



▲吹き抜けと天窓



▲エンタシス状の柱

下高瀬簡易郵便局(旧丸岡呉服店) ～今でも現役で働く文化財～

下高瀬簡易郵便局は、三野町下高瀬に所在し、登録有形文化財に指定されています。建物は元々、丸岡呉服店(屋号ヤマヤ)として昭和10年(1935年)に建てられ、昭和25年(1950年)9月からは簡易郵便局として使用され、現在に至っています。

建物は木造モルタル造りの2階建てで、4本のエンタシス状の丸柱で支えられています。エンタシスとは上下はともに細く、中央がやや膨らんだ形をしているものを指します。局内部をみると、中央に吹き抜けのギャラリーを設け、その上部には天窓がつけられています。そのため、自然の光だけで十分な明るさを確保できるようになっています。

局内のタイル敷きの床面や白壁の天井は建設当

時のままです。建設されて70年以上経つにもかかわらず、床にはほとんどひび割れがなく、白壁もほとんど色あせていない光景をみると、建設当時の技術の高さをうかがうことができます。

局内には当時の応接室が残されています。壁と天井は白壁で造られ、天井が大変高い構造になっているためか、広い面積ではないにもかかわらず、入る人に圧迫感を与えず、広々とした空間を感じさせます。この応接室もほとんど当時の状態を維持しています。

下高瀬簡易郵便局は、昭和初期の三野町周辺では極めて珍しい洋風建築であり、重要な文化財であると同時に、今日でも郵便業務を行いながら、地元の人々の生活を支えています。

<生涯学習課>

今月の市民力

15台もの太鼓台(ちょうさ)が一同に集結して、迫力満点のかきくらべを見ることができる「とよなか秋のまつり」。今年で7回目を迎えたこの祭りを影で支えているのが実行委員会の皆さん。もともとは、ちょうさが好きで好きでたまらない地元の有志が集まって作った祭りです。自分たちでポスターを作って配布したり、当日の準備・進行も、各太鼓台から手伝いを出してもらったりしてみんなで運営。

金糸銀糸の刺繍を施した高さ約5m、重さ約2～3tものちょうさを、100人余りの若い衆が頭上高く差し上げるさまは圧巻です。

